

三菱自動車純正用品 オリジナル9型 ディスプレイオーディオ

取扱説明書

DJ1M

部品番号
MZ594858

ご使用前に必ずお読みください。

本書の見かた

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

◎ 事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

- 本書の中で使用するマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと生命の危険または重大な損害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと損害または事故につながるおそれがあります。
システムを使用するときに守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
システムを使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡ マークで表示しています。
- 本書ではボタンや操作画面のメニュー項目などをマークで表示しています。マークの見かたは次のとおりです。

<メニュー>	コントロールパネルのボタンやステアリングスイッチ（オーディオ）などを表します。
[情報・設定]	操作画面上に表示されるメニューや項目を表します。

- 車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。
- 本書で使用している画面やイラストは、仕様によりお客さまの車両と異なります。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 本機の故障、誤動作または不具合により本機に記録できなかったデータ、消失したデータなどについては補償できません。

スマートフォンで取扱説明書を閲覧する

スマートフォンを使用して QR コードを読み込むことで、取扱説明書を閲覧することができます。

■ QR コードから



■ URL から

URL を直接入力しても閲覧できます。

<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/afterservice/manual/pdf/mz594858.pdf>

📖 知識

- サイトの閲覧には別途、通信料が発生します。
- スマートフォンで QR コードを読み込むには、アプリケーションのインストールが必要な場合があります。
- スマートフォンやアプリケーションの操作方法は、スマートフォンやアプリケーションの取扱説明書またはヘルプなどをご覧ください。
- 画面の傷や汚れ、光の反射、QR コードのバージョンによっては読み取れない場合があります。

MEMO

■ 安全上のご注意 .8 ■ はじめに設定しておきたいこと .19	■ 各部の名称とはたらき .12	■ 基本的な使いかた .16	ご使用前の確認と設定	P.7
■ オーディオの基本操作 .24 ■ 外部機器の接続 .40	■ ラジオを聞く .33	■ USB メモリー /iPhone/BLUETOOTH Audio 機器を使う .34	オーディオ・ビジュアル	P.23
■ カメラシステム .42	■ 三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー .46		カメラシステム・ドライブレコーダー	P.41
■ BLUETOOTH 機器の設定 .54	■ ハンズフリーフォンを使う .56		ハンズフリーフォン	P.53
■ Apple CarPlay を使う .60	■ Android Auto を使う .62		スマートフォン連携	P.59
■ 情報表示や設定について .66	■ システム設定 .67	■ 情報を見る .70	情報・設定	P.65
■ 困ったとき .72	■ 知っておいていただきたいこと .82	■ 索引 .97	付録	P.71

MEMO

安全上のご注意

取り付けや配線について	8
使用方法について	8
異常時の問い合わせ	9
使用上のお願い	9

各部の名称とはたらき

コントロールパネル	12
ステアリングスイッチ（オーディオ）	14

基本的な使いかた

電源を入れる / 切る	16
画面の明るさおよび黒レベルを調整する、画面表示を消す	16
トップメニュー画面の操作	17
文字入力のかた	18

はじめに設定しておきたいこと

利用開始日を登録する	19
イーージーセットアップを行う	19
BLUETOOTH 機器を登録する	19

取り付けや配線について

警告

- **取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な故障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの三菱自動車販売会社へご相談ください。

使用方法について

警告

- **分解・修理および改造はしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切った他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- **音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
- **機器内部に、水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

警告

- **故障や異常な状態のままで使用しない**
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。
- **運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。
- **雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない**
落雷による感電の原因となります。
- **ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する**
スマートフォンアプリによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。
- **ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの三菱自動車販売会社に依頼してください。
- **リヤビューカメラやマルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）は補助手段として使用し、後退時には直接後方の安全確認をしながら運転する**
交通事故の原因となります。

警告

- **医療用電気機器などへの影響を確認する**
本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。
- **小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く**
誤って飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意

- **本機を車載用以外で使用しない**
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。
- **USB 挿入口に手や指を入れない**
けがの原因となる場合があります。

異常時の問い合わせ



警告

- 異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず三菱自動車販売会社に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



アドバイス

- お客さままたは第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のお願い

走行中の操作制限 / 視聴制限について

- 安全運転への配慮から、走行中は操作できない機能があります。また、HDMI、USBメモリーのビデオファイルやドライブレコーダーの映像は走行中は表示できません。操作や映像ソースの視聴は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけた状態で行ってください。
- 停車するときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、**故障かなと思ったら (P.72)** を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの三菱自動車販売会社へご相談ください。

コントロールパネルの お手入れについて

ボタン操作部やディスプレイ部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えることがあります。

📖 知識

- コントロールパネルについては、**コントロールパネル (P.12)** をご覧ください。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがったもので操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。が、故障ではありません。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に記録された情報（電話番号など）を、必ずお客さま自身によってデータを消去し、確認してください。

個人情報の消去は、➡ 個人情報を初期化する (P.69) で行うことができます。未消去のデータの流出による損害等について、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

個人情報を初期化しても、利用開始日は初期設定の状態にできません。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用する则各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること

- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機の Bluetooth® 機能 / 無線 LAN 機能は 2.4GHz 帯と 5GHz 帯の周波数帯を使用します。

- 電波法により、5GHz 帯 (W52) の帯域を使用した無線装置は、自動車内に設置して使用する以外、使用は禁止されています（法令により許可された場合を除く）。5GHz 帯 (W52) を利用した無線 LAN 機能は、必ず自動車内でご使用ください。

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ 使用上のご注意

本機の使用周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、三菱自動車販売会社にご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

安全上のご注意

- 本機の周波数表示は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

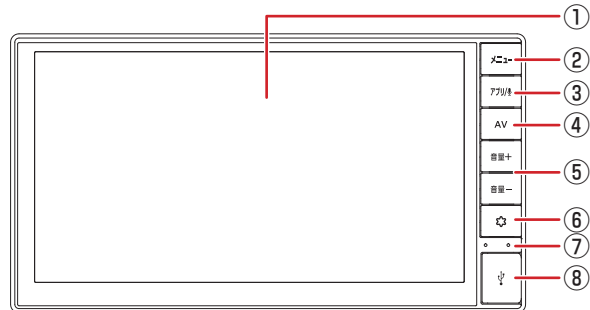
1 : 電波と干渉距離は 10m 以下です。

□ □ □ : 全帯域を使用し、移動体
識別装置の帯域回避可能
です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんで
トランスミッターとレシーバーを設置する
と電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、
出なくなったりする場合があります。本機
を使用する環境により伝送距離が短くなり
ます。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電
波干渉により、正常に動作しない、雑音が
発生するなどの不具合が生じることがあり
ます。
 - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線
LAN、電子レンジ、デジタルコードレス
電話などの機器の近く。電波が干渉して
音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チュー
ナー、VICS などのアンテナ入力端子を
持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイ
ズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第三者が
故意または偶然に傍受することが考えられ
ます。重要な通信や人命にかかわる通信に
は使用しないでください。

コントロールパネル

本機は、コントロールパネルを使って操作します。
コントロールパネルはディスプレイと各ボタンで構成されます。



① ディスプレイ

メニュー画面や情報などを表示し、タッチすることで操作ができます。画面表示を消すこともできます。

➡ トップメニュー画面の操作 (P.17)

② <メニュー>ボタン

・押す：トップメニュー画面を表示します。

➡ トップメニュー画面の操作 (P.17)

・押し続ける：画質調整画面を表示します。

➡ 画面の明るさおよび黒レベルを調整する (P.16)

※ Apple CarPlay / Android Auto™ 画面では操作できません。

③ <アプリ>ボタン

・押す：Apple CarPlay 画面 / Android Auto 画面を表示します。

➡ Apple CarPlay を使う (P.60)、

➡ Android Auto を使う (P.62)

・押し続ける：Apple CarPlay または Android Auto 接続中に音声認識機能を起動します。

➡ Siri を使う (P.61)、

➡ Google アシスタントを使う (P.63)

スマートフォンを BLUETOOTH® 接続中は、スマートフォンの音声認識機能を起動します。

登録している BLUETOOTH 機器がない場合は、本機に BLUETOOTH 機器が登録できる状態になります。

➡ BLUETOOTH 機器を登録する (P.20)

④ <AV>ボタン

・押す：選択中の AV 画面を表示します。
AV 画面表示中に押すと、トップメニュー画面を表示します。

Apple CarPlay または Android Auto を使用中に押すと、ディスプレイオーディオの操作画面（ラジオやトップメニュー画面など）に戻ります。

・押し続ける：AV ソースをオフにします。

⑤ <音量+> / <音量->ボタン

音量を調整 (0 ~ 40) します。

知識

- <音量+>ボタンを押し続けると、連続して音量値が15まで上がります。音量を15より大きくする場合は、1回ずつ押してください。
 - AVソースの音量、交通情報の音量、出力音声の音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量は個別に調整できます。
(例：交通情報の受信中に音量を調整すると、その音量は保存され、次に交通情報を受信したときも同じ音量になります。)
 - <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定]→[システム設定]→[音量/音質]をタッチしても、出力音声の音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量の調整ができます。
- ➡ システムの設定をする (P.68)

⑥ <☆> (OPT) ボタン

オプションスイッチ画面で設定した機能の操作をします。

➡ システムの設定をする (P.67)

- ※ マルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）装着車の場合は、マルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）の映像画面を表示します。（一部の車種では表示できません。）
- ※ ソナー付きのマルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）装着車の場合は、<☆>ボタンを長押しすることでソナーのオン/オフの切り替えができます。
- ※ マルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）について詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

⑦ 内蔵マイク

ハンズフリー通話や音声認識機能に使用するマイクです。

⑧ USB 挿入口

カバーを開けて USB メモリーや iPhone、Android™ スマートフォンを接続します。

➡ USB メモリーを接続する (P.34)、

➡ iPhone を接続する (USB 接続) (P.34)、

➡ Apple CarPlay を接続する (P.60)、

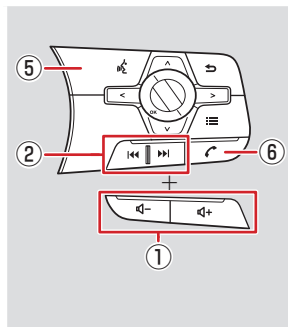
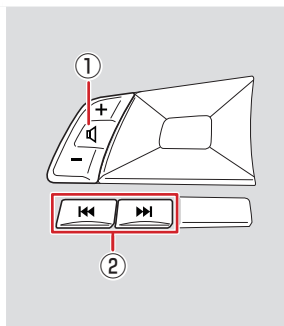
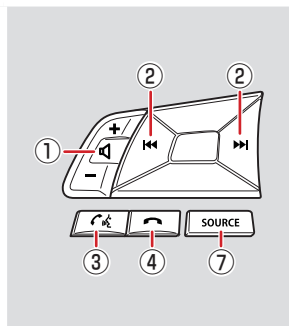
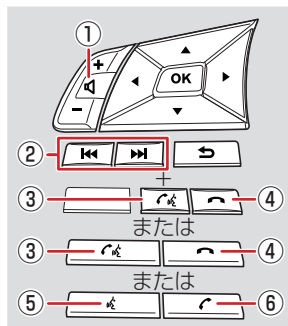
➡ Android Auto を接続する (P.62)

ステアリングスイッチ（オーディオ）

車種によっては、ハンドルにボタンが付いている場合があります。その場合は、運転中に AV の操作が可能です。

知識

- ハンドルやステアリングスイッチ（オーディオ）の形状は車種によって異なります。
- 対応車種は三菱自動車販売会社にお問い合わせください。



イラストはイメージ図です。

各部の名称とはたらき

① 音量ボタン

音量を調整 (0 ~ 40) します。

📖 知識

- <+> / [▲] ボタンを押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。音量を 15 より大きくする場合は、1 回ずつ押してください。
- AV ソースの音量、交通情報の音量、出力音声の音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量は個別に調整できます。(例：交通情報の受信中に音量を調整すると、その音量は保存され、次に交通情報を受信したときも同じ音量になります。)

② トラック・シークボタン

・ラジオ：

- ・押す：放送局を切り替えます。
- ・押し続ける：受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。

・交通情報：

- ・押す：受信周波数を 1620kHz と 1629kHz に切り替えます。

・音楽 / ビデオ再生：

- ・押す：前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
- ・押し続ける：早送り / 早戻しします。

③ <📞> <📞> ボタン

電話の着信時に押すと、ハンズフリー通話を開始します。

④ <📞> <📞> ボタン

ハンズフリー通話を終了します。

⑤ <📞> (音声認識) ボタン

Apple CarPlay または Android Auto 接続中に音声認識機能を起動します。

⑥ <📞> ボタン

電話の着信時に押すと、ハンズフリー通話を開始します。

通話時に押すと、ハンズフリー通話を終了します。

⑦ <MODE> <SOURCE> (モード・ソース) ボタン

・押す：AV ソースが下記の順に切り替わります。

FM → AM → USB → BLUETOOTH
Audio → iPhone → Apple CarPlay →
Android Auto → HDMI → ドライブレ
コーダー★

・押し続ける：AV ソースがオフになります。

📖 知識

- 使用できない状態の AV ソースには切り替わりません。

★ オプションの装着により異なります。

電源を入れる / 切る

電源オン

車のエンジンスイッチ（電源ポジション）を「ON」にすると、本機の電源がオンになります。
※初めて本機を起動したときは、取付確認・設定画面が表示されますので、利用開始日登録 ➡ 利用開始日を登録する (P.19)、およびイージーセットアップ ➡ イージーセットアップを行う (P.19) を行ってください。

電源オフ

車のエンジンスイッチ（電源ポジション）を「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。

📖 知識

- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。

🚗 アドバイス

オートACC 機能付きの車種の場合

- 本機を操作するには、車のエンジンをかけてください。車のエンジンスイッチ（電源ポジション）を「OFF」にすると、本機の電源もオフになります。詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

画面の明るさおよび黒レベルを調整する、画面表示を消す

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいように画面の明るさおよび黒レベルを調整できます。

画面の明るさおよび黒レベルを調整する

1. <メニュー> ボタンを押し続ける
画面コントロールメニューが表示されます。
2. [-] または [+] をタッチして調整する

明るさ	画面の明るさを調整します。 [+] : 明るくなります。 [-] : 暗くなります。
黒レベル	黒い部分の明るさを調整します。 [+] : 明るくなります。 [-] : 暗くなります。

📖 知識

- 「明るさ」、「黒レベル」は、全ての画面に共通で設定されます。
- Apple CarPlay および Android Auto 画面では、画質を調整できません。
- 明るさ調整は、車のライト点灯時と消灯時で別々に設定できます。
- 映像画面以外では、「明るさ」と「黒レベル」のみ調整できます。
- 映像画面の調整項目は ➡ AV の画質を調整する (P.25) をご覧ください。
- 情報・設定メニューの [画質調整] をタッチしても画質調整画面を表示できます。
➡ 情報・設定メニューについて (P.66)

画面表示をオフにする

本機を使用しないときなどに、画面の表示を消します。

<メニュー> ボタンを押し、[情報・設定] → [画面消し] をタッチする
画面表示が消えます。

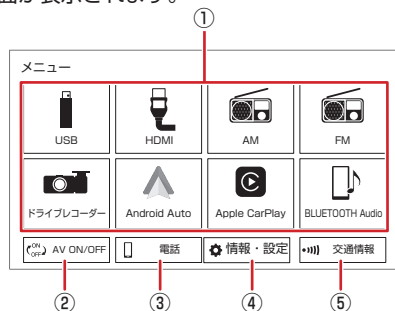
📖 知識

- 画面表示のオフ中に画面をタッチすると、画面表示をオフにする前の画面に戻ります。
- 画面表示のオフ中に本機の電源をオフにすると、次に電源をオンにしたときには、画面表示はオンになります。
- リヤビューカメラを接続している場合、またはマルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）搭載車の場合、車のシフトレバーをリバースに入れると、画面消し（黒画面）中でも、モニター映像に自動的に切り替わります。
※シフトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態（黒画面）に戻ります。

トップメニュー画面の操作

トップメニュー画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。

＜メニュー＞ボタンを押すとトップメニュー画面が表示されます。



① トップメニュー表示エリア

AV のキーを表示します。キーの配置は変更することができます。➡ メニューのキー配置を変更する (P.17)

② AV ON/OFF

AV ソースのオン / オフを切り替えます。

③ 電話メニュー

電話の発信や設定を行う画面を表示します。

➡ 電話画面を表示する (P.56)

Apple CarPlay または Android Auto 接続中は、それぞれのアプリケーションの電話画面を表示します。

④ 情報・設定メニュー

情報表示や各種設定を行う画面を表示します。➡ 情報・設定メニューについて (P.66)

⑤ 交通情報

交通情報を受信します。➡ ラジオで交通情報を聞く (P.33)

知識

- ハンズフリー通話や音声認識中は、[操作画面に戻る] キーが表示されます。タッチするとハンズフリー通話などの操作画面に戻ります。

メニューのキー配置を変更する

トップメニューのキーを入れ替えることができます。

1. ＜メニュー＞ボタンを押し、[情報・設定] → [システム設定] → [その他設定] → [メニュー配置変更] をタッチする

2. 移動したいキーをタッチする

3. 移動させたい位置をタッチする
キーの位置が移動して、メニューのキー配置が保存されます。

4. [戻る] をタッチして前の画面に戻す

知識

- [操作方法] をタッチすると、操作方法の説明画面が表示されます。

文字入力のしかた

文字入力の方法を切り替えることができます。キーボードを使って文字を入力するキーボード形式と、携帯電話のように文字を入力するテンキー形式の2つがあります。登録した名称を編集する場合は、文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えることもできます。

入力方法を切り替える

[入力切替] をタッチする

タッチするたびにキーボード形式とテンキー形式に切り替わります。

キーボード形式画面

ユーザー名編集										入力切替		戻る	
あいづ										変換		無変換	
わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	かな			
"	り		み	ひ	に	ち	し	き	い	切替			
を	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	小文字 ☐			
・	れ	ー	め	へ	ね	て	せ	け	え	半角 ☐			
ん	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	決定			

テンキー形式画面

ユーザー名編集										入力切替		戻る	
あいづ										変換		無変換	
う	え	き	か	け	す	ざ	せ	1/A		かな			
い	あ	お	こ	ぬ	し	さ	そ	ふ		切替			
ち	た	て	に	の	ひ	は	へ	は		小文字 ☐			
と	む	め	(	や	)	り	れ	る		半角 ☐			
み	ま	も	ん	よ	ん	ら	ろ	る		決定			
								送り					
								を		わ		ー	

文字の種類を切り替える

切り替える文字の種類をタッチする

入力する文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えます。

[切替]：タッチするたびにかな（ひらがな）/ カナ（カタカナ）/ 英数 / 記号に切り替わります。

[小文字]：小文字に切り替わります。

[半角]：半角英数字または記号に切り替わります。

文字を入力する

1. 入力したい文字をタッチする
2. 変換する場合は、[変換] をタッチする
3. 変換候補リストから単語を選んでタッチする
4. [決定] をタッチする
文字の入力が確定されます。

知識

テンキー形式画面でフリック入力の場合

- 例：「い」を入力する場合、[あ] をタッチして左側にはらいます。
- 例：「あい」を入力する場合、[あ] をタッチします。そのあと、[あ] をタッチして左側にはらいます。

テンキー形式画面でトグル入力の場合

- 例：「い」を入力する場合、[あ] をすばやく2回タッチします。
- 例：「あい」を入力する場合、[あ] をタッチします。そのあと、[あ] をすばやく2回タッチします。

はじめに設定しておきたいこと

利用開始日を登録する

初回起動時に本機の利用開始日を登録します。

1. **[利用開始] をタッチする**
利用開始日が登録されます。

知識

- [利用開始] をタッチできない場合は、車を GPS が受信できる見晴らしの良い場所、ガレージの外などに移動してください。
- [利用開始] 以外をタッチして別の画面になった場合は、車のエンジンスイッチを入れなおしてください。設定画面が表示されます。

イージーセットアップを行う

初回起動時に、本機を使用するための初期設定を行います。イージーセットアップを行うと、本機を活用するのに必要な設定をまとめて行うことができます。

1. **[イージーセットアップをはじめる] をタッチする**
[次回表示する] をタッチすると、次回起動時に再度イージーセットアップ画面が表示されます。
[次回以降表示しない] をタッチすると、次回起動時からイージーセットアップ画面は表示されません。
2. **音量 / 音質を設定して、[次ページへ] をタッチする**
音量 / 音質に関する項目を設定します。
設定項目は **④ システムの設定をする (P.68)** をご覧ください。

3. **BLUETOOTH を設定して、[次ページへ] をタッチする**

[機器登録] : BLUETOOTH 機器を登録します。操作方法是 **④ BLUETOOTH 機器を登録する (P.20)** をご覧ください。

4. **ユーザー切替を設定して、[次ページへ] をタッチする**

本機では 2 ユーザー分の設定を保持し、切り替えることができます。
操作方法是 **④ システムの設定をする (P.68)** をご覧ください。

5. **オプションスイッチを設定する**
割り当てる機能をタッチします。
④ システムの設定をする (P.67)

6. **[終了] をタッチする**
イージーセットアップを終了してトップメニュー画面が表示されます。

知識

- イージーセットアップをあとから行うことや、やり直すこともできます。
<メニュー> ボタンを押し、[情報・設定] → [イージーセットアップ] をタッチしてください。
- [前ページへ] をタッチすると、前の画面へ戻ります。
- [次ページへ] をタッチすると、次の画面を表示します。
- [終了] をタッチすると、イージーセットアップを終了します。

BLUETOOTH 機器を登録する

本機は、BLUETOOTH 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や BLUETOOTH Audio の再生ができます。

BLUETOOTH 機器の登録について

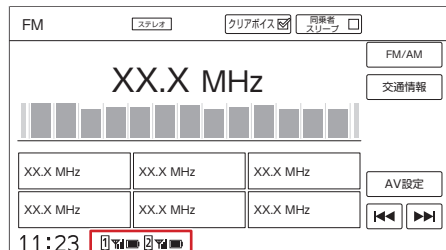
- BLUETOOTH 機器は 10 台まで登録できます。
- BLUETOOTH の対応プロファイルについては、**④ BLUETOOTH 対応プロファイル (P.88)** をご覧ください。
- 本機の電源を入れたときに、ハンズフリーで使用する携帯電話と接続できない場合は、携帯電話未接続案内をします。
④ BLUETOOTH の設定をする (P.55)

知識

- BLUETOOTH 機器の操作方法是、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

はじめに設定しておきたいこと

BLUETOOTH 接続中は、AV 画面に BLUETOOTH 電話機接続中アイコンが表示されます。



BLUETOOTH 電話機接続中アイコン

①/②:「電話 1」/「電話 2」に電話機が登録されている場合に表示します。

📶🔋: 電話機の電波とバッテリーの状態を表示します。

※ BLUETOOTH 接続されていない場合は、表示されません。

※ 電波とバッテリーの状態の表示は、電話機の表示と異なる場合があります。

※ 電話機の機種によっては、表示されない場合があります。

BLUETOOTH 機器を登録する

本機で BLUETOOTH 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

🚗 アドバイス

- パスキー方式の登録には対応していません。
- BLUETOOTH 接続をするには BLUETOOTH 機能をオンにしておく必要があります。
➡ [BLUETOOTH の設定をする \(P.55\)](#)
- 誤登録を防ぐため、登録前に周囲の他の BLUETOOTH 対応機器の電源をお切りください。
- BLUETOOTH の登録中に車両のエンジンスイッチ（電源ポジション）をオフにした場合、登録は中止されます。故障の原因になりますので、登録中は車両のエンジンスイッチ（電源ポジション）をオフにしないでください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。

📖 知識

- 本機は BLUETOOTH のセキュアシンプルペアリングに対応しています。セキュアシンプルペアリングに対応した BLUETOOTH 機器に接続を行う際に、画面に認証コードが表示されます。
- 60 日間以上接続していない登録済みの BLUETOOTH 機器は、登録情報が消去されます。登録情報が消去された機器を使用する場合は、もう一度 BLUETOOTH 機器の登録を行ってください。
- Apple CarPlay 接続中は、BLUETOOTH 機器の登録はできません。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定]→[機器選択リスト]をタッチする
1 台も登録されていない場合は、登録開始画面が表示されます。[はい]をタッチして、手順 3 に進んでください。
2. [登録] をタッチする
登録開始画面が表示されます。
3. 登録する BLUETOOTH 機器の BLUETOOTH 機能をオンにする
4. BLUETOOTH 機器に表示される「DJ1」を選択する
5. 本機の認証コードを BLUETOOTH 機器側で確認して登録する
登録が完了すると「BLUETOOTH 機器の登録が完了しました。」と表示され、登録した機器が BLUETOOTH で接続されます。

📖 知識

- 登録している BLUETOOTH 機器がない場合は、<🔍>ボタンを押し続けることで、手順 2 の登録開始画面を表示することができます。
- BLUETOOTH 機器から本機を選ぶときの手順 4 の名前を変えることができます。
➡ [BLUETOOTH の設定をする \(P.55\)](#)
- 登録した後に変更する BLUETOOTH 機器の接続を変更することができます。
➡ [登録した機器の設定をする \(P.54\)](#)
- HFP、A2DP、SPP は BLUETOOTH のプロファイル名です。
➡ [BLUETOOTH 対応プロファイル \(P.88\)](#)

📖 知識

BLUETOOTH Audio (A2DP) に対応している機器の場合

- 登録が完了すると「BLUETOOTH Audio」に接続されます。すでに登録があっても新しく登録した機器に接続が変わります。

ハンズフリー通話 (HFP) に対応している機器の場合

- 登録が完了すると、「電話 1」または「電話 2」に接続されます。
 - すでに登録がある場合は自動的に接続しません。「電話 1」または「電話 2」として接続するには設定の変更が必要です。
- ➡ 登録した機器の設定をする (P.54)

Apple CarPlay 対応の iPhone を登録した場合

- 登録が完了すると、Apple CarPlay を使用するか確認メッセージが表示されます。Apple CarPlay として使用するときは [はい] をタッチします。

Android Auto 対応の Android スマートフォンを登録した場合

- 登録が完了すると、自動的に Android Auto 画面が表示されます。
- すでにハンズフリー通話 (HFP) の登録があっても、電話メニュー画面で選択されていない「電話 1」または「電話 2」に接続されます。

本機の BLUETOOTH 機能を オン / オフする

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定] → [システム設定] → [BLUETOOTH] をタッチする
2. [BLUETOOTH] をタッチする
オフする場合は、確認画面で [はい] をタッチします。

MEMO

オーディオの基本操作

ソースを切り替える	24
AV の画質を調整する	25
同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能	27
AV の設定をする	27
サウンドの設定をする	28
その他のサウンド設定をする	30

ラジオを聞く

ラジオで交通情報を聞く	33
FM/AM 放送を聞く	33
プリセットキーに放送局を登録する	33

USB メモリー /iPhone/BLUETOOTH Audio 機器を使う

USB メモリーを接続する	34
iPhone を接続する / 取り外す	34
BLUETOOTH Audio 機器を使用する	35
再生する	36
オーディオファイルを再生する	36
ビデオファイルを再生する	37
再生リストについて	38

外部機器の接続

外部機器の映像を見る / 音声を聞く	40
--------------------	----

ソースを切り替える

＜メニュー＞ボタンを押し、**トップメニュー**を表示する
トップメニュー画面でソース（音源）を切り替えます。

[USB]	USB メモリーのオーディオ / ビデオファイルを再生します。➡ 再生する (P.36)
[HDMI]	本機に接続した HDMI 機器のソースに切り替えます。➡ 外部機器を再生する (P.40)
[AM]	AM ラジオ放送を受信します。➡ FM/AM 放送を聞く (P.33)
[FM]	FM ラジオ放送を受信します。➡ FM/AM 放送を聞く (P.33)
[ドライブレコーダー]★	別売の三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを本機に接続している場合、接続したドライブレコーダーの画面に切り替えます。 ➡ 三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る (P.46)
[Android Auto]	Android Auto の画面を表示します。➡ Android Auto を使う (P.62)
[Apple CarPlay]	Apple CarPlay の画面を表示します。➡ Apple CarPlay を使う (P.60)
[BLUETOOTH Audio]	本機に接続した BLUETOOTH 対応オーディオプレーヤーを再生します。 ➡ 再生する (P.36)
[交通情報]	交通情報を受信します。➡ ラジオで交通情報を聞く (P.33)

📖 知識

- iPhone 側の設定で Apple CarPlay 機能をオフにした iPhone を接続しているときは、下記ソースの動作が変わります。
 - [Apple CarPlay]：選択できません。
 - [USB]：USB 接続した iPhone の曲を再生します。
 - [BLUETOOTH Audio]：BLUETOOTH 接続した iPhone の曲を再生します。
- 走行中は、HDMI、ドライブレコーダー、USB メモリーのビデオファイルの映像は表示されません。安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご覧ください。

AV の画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

1. 調整したい画面を表示し、＜メニュー＞ボタンを押し続ける
2. [－] または [＋] をタッチして調整（－ 4 ～＋ 4）する

項目	機能・操作説明	
明るさ	画面の明るさを調整します。	[＋]：明るくなります。[－]：暗くなります。
コントラスト	コントラストを調整（強弱）します。	[＋]：明暗の差が大きくなります。[－]：明暗の差が小さくなります。
ブライトネス	映像の明るさを調整します。	[＋]：明るくなります。[－]：暗くなります。
黒レベル	黒い部分の明るさを調整します。	[＋]：明るくなります。[－]：暗くなります。
色の濃さ	色の濃淡を調整します。	[＋]：色が濃くなります。[－]：色が淡くなります。
色合い	色合いを調整します。	[＋]：緑みが強くなります。[－]：赤みが強くなります。
アスペクト	画面に表示する映像のサイズを変更します。➡ 映像の画面表示サイズを変更する (P.26)	

画面によって調整できる項目が異なります。調整できる項目は次のとおりです。

	明るさ	コントラスト	ブライトネス	黒レベル	色の濃さ	色合い
USB ソースのビデオファイル再生画面 HDMI ソースの画面	○	○	○	○	○	—
ドライブレコーダー★ソースの画面 リヤビューカメラ★の画面	○	○	○	○	○	○

📖 知識

- 「明るさ」、「黒レベル」以外の項目はソースごとに設定されます。
- 「明るさ」、「黒レベル」は、Apple CarPlay および Android Auto 画面を除く全ての画面に共通で設定されます。
- 明るさ調整は、車のライト点灯時と消灯時で別々に設定できます。
- AV 以外の画面の調整項目は ➡ 画面の明るさおよび黒レベルを調整する (P.16) をご覧ください。
- [🏠 戻る] をタッチすると前の画面に戻ります。

★ オプションの装着が必要です。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

1. サイズを変更する映像ソース画面を表示する
2. <メニュー>ボタンを押し続ける
3. 「アスペクト」の[◀]または[▶]をタッチして、映像サイズを調整する

		16 : 9 画像	4 : 3 画像	その他	
ノーマル	4:3 の比率で表示します。				
					
					
					
フル	画面いっぱいに表示します。				
オリジナル	映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。				

画面によって変更できるサイズが異なります。変更できるサイズは次のとおりです。

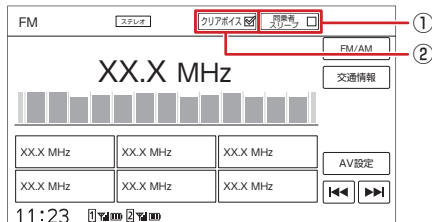
	アスペクト
USB ソースのビデオファイル再生画面	ノーマル、フル、オリジナル
ドライブレコーダー*ソースの画面 HDMI ソースの画面	フル、ノーマル

知識

- リヤビューカメラ*およびマルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）*の映像は、画面表示サイズの変更はできません。
- 変更した内容はソースごとに設定されます。
- [戻る] をタッチすると前の画面に戻ります。

★ オプションの装着により異なります。

同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能



① 同乗者スリープ機能キー

助手席や後部座席の搭乗者が眠っているときに使用します。運転席以外の席では搭乗者がうるさく感じない音質にし、運転席では音像バランスを維持できる音になります。

知識

- 同乗者スリープ機能がオン中は、AV 設定を変更できません。
➡ [AV の設定をする \(P.27\)](#)
- 同乗者スリープ機能は、全ての AV ソースで共通にオン / オフ設定されます。

② クリアボイス機能キー

FM/AM 放送や交通情報を聞くとときに使用します。人の声が聞き取りやすくなります。

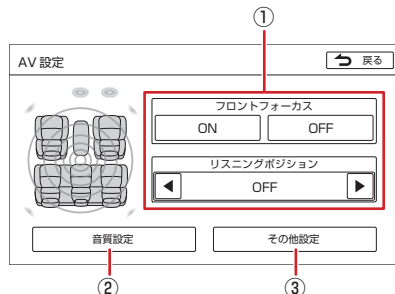
知識

- クリアボイス機能がオン中は、イコライザーの調整、イコライザープリセットの設定ができません。

AV の設定をする

<メニュー> ボタンを押し、[情報・設定] → [AV 設定] をタッチする

音質、音響効果など、本機の AV の設定に関する項目を設定します。



- ① フロントフォーカス / リスニングポジション
音像イメージの位置や音を聞く座席を設定します。

➡ [リスニングを設定する \(P.27\)](#)

- ② 音質設定

音質、音響効果の設定をします。

➡ [サウンドの設定をする \(P.28\)](#)

- ③ その他設定

その他の音響効果設定をします。

➡ [その他のサウンド設定をする \(P.30\)](#)

知識

- 各ソース画面の [AV 設定] をタッチしても AV 設定画面を表示できます。

リスニングを設定する

リスニング設定は音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように音響効果を設定します。

リスニング設定には2つの効果があります。

● フロントフォーカス：

まるで目の前にアーティストがいて演奏しているかのように、仮想の音像イメージを座席の前方に定位させる機能です。

仮想の音像イメージが発する音の到達時間と大きさを各スピーカーで再現します。

● リスニングポジション：

設定した座席に近いスピーカーほど音の出るタイミングを遅らせる（ディレイ）ことで、各スピーカーからの音が同時に聞こえてくるように調整します。

■ リスニングポジションを設定する

1. 「リスニングポジション」の [◀ または ▶] をタッチする
タッチするたびに「OFF」/「運転席」/「前側席の中央」に切り替わります。

■ フロントフォーカスを設定する

1. 「リスニングポジション」を「運転席」または「前側席の中央」に設定する
音像イメージを右側座席正面に定位させたい場合は「運転席」を、前側座席正面に定位させたい場合は「前側席の中央」を選んでください。
2. 「フロントフォーカス」の [ON] をタッチする

サウンドの設定をする

＜メニュー＞ボタンを押し、[情報・設定] → [AV 設定] → [音質設定] をタッチする

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[イコライザー]	ジャンル別に設定されたイコライザープリセットやユーザー独自のイコライザーカーブを設定します。 🔊 イコライザーを調整する (P.29)
[ホールシュミレーション]	車内で擬似的な音場効果を設定します。 (OFF*/STADIUM/CHURCH/LIVE/ARENA/THEATER/LISTENING ROOM)
[ラウドネス(小音量時低音強調)]	小音量時に不足する低音と高音を補います。録音レベルが大きい曲の場合は LOW、小さい曲の場合は HIGH が適しています。(OFF*/LOW/HIGH)
[バスブースト(低音強調)]	低音を増強するレベル (OFF/LEVEL 1*/LEVEL 2/LEVEL 3) を設定します。
[サウンドライザー(音像位置調整)]	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは仮想スピーカーの位置 (高さ: OFF*/LOW/MIDDLE/HIGH) を設定します。
[K2テクノロジー (原音復元)]	圧縮・劣化したデジタル音源に拡張処理を施し、圧縮音源をオリジナルマスタークオリティーに復元します。 (OFF/ON*)
[サウンド・リアライザー (音の輪郭補正)]	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。 ここではそのレベル (OFF/LEVEL 1*/LEVEL 2/LEVEL 3) を設定します。圧縮された音楽に効果的です。

📖 知識

- 各ソース画面の [AV 設定] をタッチしても AV 設定画面を表示できます。
- 設定画面の [詳細] をタッチすると設定項目の説明が表示されます。
- 「K2テクノロジー」は、株式会社 JVCケンウッドとビクターエンタテインメント株式会社が共同開発した、音源のデジタル化における高音質化情報処理技術です。時間軸上で変化する波形情報の解析技術などのオリジナルテクノロジーで、音楽制作のプロフェッショナルであるビクタースタジオのエンジニア達の音質評価をクリアし、限りなくオリジナルマスター音源の忠実な再生を目指した技術です。

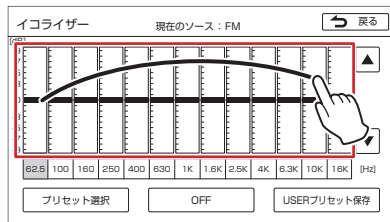
イコライザーを調整する

ジャンル別に設定されたイコライザープリセットを設定します。または、ユーザー独自のイコライザーカーブを調整します。イコライザーカーブはソースごとに設定できます。

1. [イコライザー] をタッチする

2. 画面を指でなぞる

[OFF] をタッチすると、全ての周波数帯域を「0dB」（フラット）にします。



知識

- 手順2の指でなぞる以外に、調整したい周波数をタッチし、[▲] または [▼] をタッチするとピンポイントでレベルを設定することもできます。

■ 調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自に調整したイコライザーカーブをプリセットイコライザーの USER1 ～ 4 に保存します。

1. イコライザーカーブを調整する

2. [USER プリセット保存] をタッチする

3. 保存先をタッチする

タッチしたイコライザーカーブが保存され、イコライザー画面に戻ります。

■ 保存されたイコライザープリセットを設定する

1. [プリセット選択] をタッチする

2. 設定したいイコライザープリセット（おすすめ、VOCAL、ROCK、JAZZ、TOP40、EASY、USER1 ～ 4）をタッチする
イコライザー画面に戻ります。

その他のサウンド設定をする

<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定] → [AV 設定] → [その他設定] をタッチする

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[車速連動音量]	車速に連動して AV ソースの音量を自動で調整します。(ON/OFF*)
[バランス / フェーダー]	左右のバランスと前後のフェーダーを調整します。➡ バランス / フェーダーを設定する (P.31)
[ソースレベル(ソース間音量補正)]	各ソースの音量をそろえます。➡ ソースの音量レベルを設定する (P.31)
[スピーカー出力レベル設定]	スピーカーの出力レベルを設定します。➡ スピーカーの出力レベルを設定する (P.31)
[スピーカーディレイ設定]	スピーカーディレイを設定します。➡ スピーカーディレイを設定する (P.32)

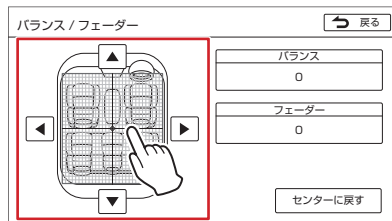
📖 知識

- 各ソース画面の [AV 設定] をタッチしても AV 設定画面を表示できます。

バランス / フェーダーを設定する

左右のバランスと前後のフェーダーを調整します。

1. [バランス / フェーダー] をタッチする
2. 画面をタッチする
[センターに戻す] をタッチすると、バランスとフェーダーを「0」にします。



知識

- [◀] または [▶] をタッチして左右のバランスを調整することもできます。
- [▲] または [▼] をタッチして前後のフェーダーを調整することもできます。
- ホールシュミレーションを設定しているとき、リアスピーカーは残響音などの音場効果音が多くなるため、音量が小さくなります。🔊 サウンドの設定をする (P.28)

ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

1. [ソースレベル (ソース間音量補正)] をタッチする
2. 各ソースの [+] または [-] をタッチして、音量を調整する
[初期値に戻す] をタッチし、確認画面で [はい] をタッチすると、ソースの音量レベルが初期値に戻ります。

アドバイス

- 音量レベルを最小に設定した AV ソースから、他の AV ソースに切り替えたときは、突然大きな音で出ることがありますのでご注意ください。

知識

- iPhone を USB 接続せずに BLUETOOTH で接続している場合、iPhone ソースと BLUETOOTH Audio ソースは共通の設定となり、項目名が「BLUETOOTH Audio/iPhone」になります。
- iPhone を USB 接続している場合、iPhone ソースと Apple CarPlay ソースは共通の設定となり、項目名が「iPhone」になります。

スピーカーの出力レベルを設定する

最も小さく聞こえるスピーカーの音量に合わせて、他のスピーカーの音量を調整します。

1. [スピーカー出力レベル設定] をタッチする
2. [◀] または [▶] をタッチして、各スピーカーの出力レベルを調整する

知識

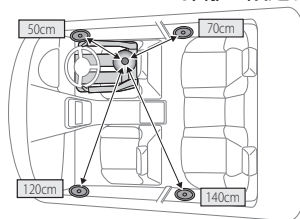
- 2 スピーカーの場合でも「リア L」、「リア R」の [◀]/[▶] をタッチできますが、設定は無効です。

スピーカーディレイを設定する

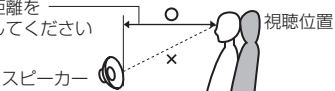
視聴位置から最も距離の離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの出力タイミングを遅らせることで、各スピーカーからの音が同時に聞こえてくるように調整します。

1. [スピーカーディレイ設定] をタッチする
2. [◀] または [▶] をタッチして、視聴位置からスピーカーまでの距離を設定する

設定例



知識

- 視聴位置からスピーカーまでの距離は水平距離を測って設定してください。
この距離を測定してください

スピーカー
- 2スピーカーの場合でも「リア L」、「リア R」の [◀] / [▶] をタッチできますが、設定は無効です。

ラジオで交通情報を聞く

交通情報（1620kHz または 1629kHz）を受信します。交通情報に切り替えると、受信状態が良いほうが自動的に受信されます。

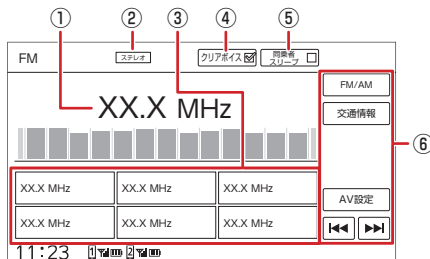
1. <メニュー> ボタンを押し、[交通情報] をタッチする
交通情報が受信されます。
2. 交通情報を切り替える場合は、[1620kHz] または [1629kHz] をタッチする

知識

- [終了] をタッチすると、交通情報を選択する前の AV ソースに戻ります。

FM/AM 放送を聞く

<メニュー> ボタンを押し、[FM] または [AM] をタッチする



① 受信中の周波数

現在受信中の周波数が表示されます。

② ステレオ受信表示

放送がステレオ受信されている場合に表示されます。

③ プリセット放送局

タッチすると、その放送局を受信します。

④ [クリアボイス]

クリアボイスの設定をオン / オフで切り替えます。➡ 同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.27)

⑤ [同乗者スリープ]

同乗者スリープの設定をオン / オフで切り替えます。➡ 同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.27)

⑥ 操作メニュー

項目	機能・操作説明
[FM/AM]	FM 放送と AM 放送を切り替えます。
[交通情報]	交通情報に切り替えます。
[AV 設定]	AV 設定画面が表示されます。➡ <u>AV の設定をする (P.27)</u>
[◀◀] / [▶▶]	周波数を変えて選局します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。もう一度タッチすると、オート選局を中止します。 受信電波の弱い地域では、自動選局できないこともあります。

プリセットキーに放送局を登録する

プリセットキーに手で放送局を 6 局まで登録します。

1. 登録する放送局を受信する

➡ FM/AM 放送を聞く (P.33) を参照して、登録したい放送局を受信します。

2. 登録先のプリセットキーをピッと音がするまで 2 秒以上タッチし続ける

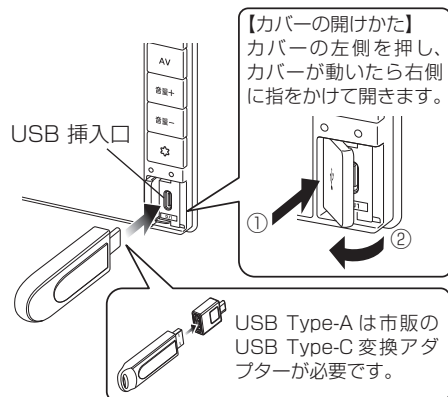
受信中の放送局がプリセットキーに登録されます。
登録した放送局は、該当するプリセットキーをタッチすると受信できます。

USB メモリー / iPhone / BLUETOOTH Audio 機器を使う

USB メモリーを接続する

本機で再生できる USB メモリーは ➡ 本機で
使用できる USB メモリー (P.84) をご覧
ください。「USB メモリー使用上のご注意」
もお読みください。

1. USB 挿入口に USB メモリーを接続する



知識

- USB メモリーを取り外すときは、ソースを USB 以外に切り替えてください。USB ソースのまま取り外すと、USB メモリー内のデータが破損する場合があります。
- 無理な接続や取り外しをすると、USB メモリー本体およびプラグが破損するおそれがあります。プラグの向きにご注意ください。
- USB メモリーの接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となりますので接続、挿入しないでください。

iPhone を接続する / 取り外す

本機で iPhone を再生するときの接続方法は USB 接続とワイヤレス接続から選択することができます。

● USB 接続する場合

Apple 社純正の USB-C - Lightning ケーブル (Lightning コネクタ搭載 iPhone) または Apple 社純正の USB-C 充電ケーブル (USB-C コネクタ搭載 iPhone) が必要です。

➡ iPhone を接続する (USB 接続) (P.34)
USB 接続しているときは、トップメニューから USB ソースを選択してください。

● ワイヤレス接続する場合

あらかじめ本機に iPhone を BLUETOOTH 機器として登録 (ペアリング) が必要です。

➡ BLUETOOTH 機器を登録する (P.20)
ワイヤレス接続しているときは、トップメニューから BLUETOOTH Audio ソースを選択してください。

アドバイス

- iPhone 本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。

知識

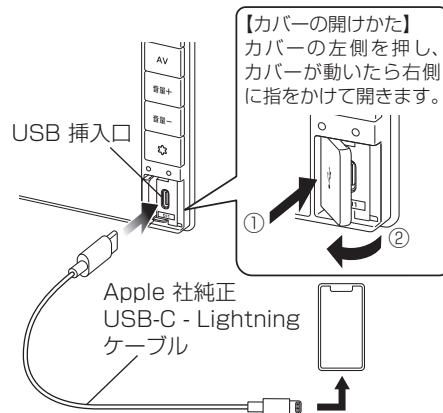
- 音楽再生のみに対応しています。
- 本機の対応可能な iPhone については、➡ 本機でコントロールできる iPhone について (P.90) をご覧ください。
- iPhone の接続には、Apple 社純正の USB-C - Lightning ケーブルまたは Apple 社純正の USB-C 充電ケーブル (USB 挿入口に接続できる形状の接続口のもの) をお使いください。純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。

知識

- Apple CarPlay 接続中は、iPhone の再生はできません。USB 接続で iPhone を使用する場合は、Apple CarPlay 機能を iPhone 側の設定メニューでオフにしてください。
- iPhone と接続した Apple 社純正の USB-C - Lightning ケーブルまたは Apple 社純正の USB-C 充電ケーブルは、車両側機器の操作を妨げないように固定してください。交通事故や誤動作の原因となります。

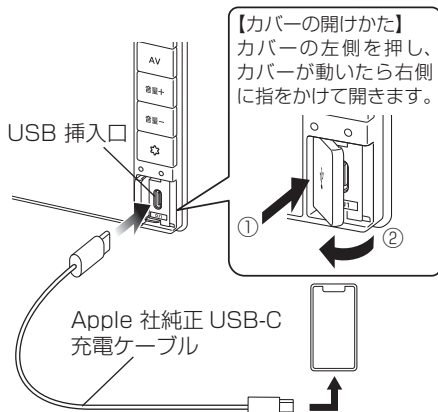
iPhone を接続する (USB 接続)

1. USB 挿入口に Apple 社純正の USB-C - Lightning ケーブル (Lightning コネクタ搭載 iPhone) または Apple 社純正の USB-C 充電ケーブル (USB-C コネクタ搭載 iPhone) を接続し、iPhone を接続する
- iPhone が Lightning コネクタの場合



USB メモリー/iPhone/BLUETOOTH Audio 機器を使う

● iPhone が USB-C コネクタの場合



アドバイス

- 無理な接続や取り外しをすると、接続した iPhone 本体およびプラグが破損するおそれがあります。プラグの向きにご注意ください。
- iPhone の接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続、挿入しないでください。

知識

- iPhone の接続には、Apple 社純正の USB-C - Lightning ケーブルまたは Apple 社純正の USB-C 充電ケーブル (USB 挿入口に接続できる形状の接続口のもの) をお使いください。純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。
- iPhone は、電源を入れたうえで本機と接続してください。

知識

- iPhone を接続して使用する際は、iPhone 側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。
- iPhone が正しく動作しないときは、本機から iPhone を取り外して iPhone をリセットし、再度接続してください。iPhone のリセット方法は、iPhone の取扱説明書をご覧ください。
- iPhone に楽曲を追加する操作を行う場合は、iPhone を本機から取り外してください。
- iPhone の動作や、バージョンアップされる iPhone、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続して iPhone を使用中に、iPhone のデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- 接続中は、iPhone を操作しないでください。
- iPhone のリモコンやヘッドフォンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 車のエンジンスイッチ (電源ポジション) を「OFF」にしたあとは、必ず iPhone を取り外してください。iPhone の電源が切れず、iPhone のバッテリーを消耗することがあります。
- 本機起動中に iPhone を USB 接続すると、iPhone への充電が行われます。
- iPhone ソースのときに、iPhone の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- iPhone が USB と BLUETOOTH の両方で接続されている場合、接続方法は USB 接続と表示されます。

BLUETOOTH Audio 機器を使用する

BLUETOOTH Audio 機器を使用するには、本機に BLUETOOTH 対応オーディオプレーヤーを BLUETOOTH 機器として登録 (ペアリング) が必要です。

➡BLUETOOTH 機器を登録する (P.19)

知識

- BLUETOOTH 対応オーディオプレーヤーの機種や使用しているアプリケーションによっては、操作キーや楽曲情報、リストを表示できない場合があります。また、再生方法 (スキップ操作やランダム再生モード切替など) や表示モードを操作できない場合があります。
- BLUETOOTH 機器や使用する音楽プレーヤーによっては、本機から操作できない場合があります。その場合は、機器側で操作してください。
- BLUETOOTH 機器によっては自動で再生しない場合があります。そのときは [▶] をタッチしてください。
- BLUETOOTH 機器によっては、音声出力や画面表示するのに時間がかかる場合があります。
- BLUETOOTH 機器によっては、機器側の音楽プレーヤーを起動する必要があります。また、音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない場合があります。
- Apple CarPlay または Android Auto 接続中の機器では、BLUETOOTH Audio ソースは再生できません。

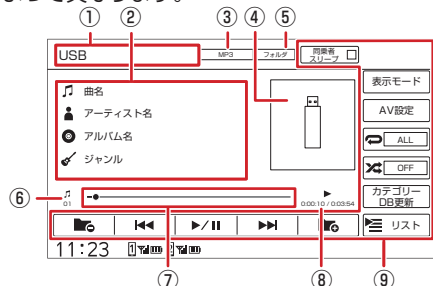
USB メモリー / iPhone/BLUETOOTH Audio 機器を使う

再生する

USB メモリー、iPhone、BLUETOOTH Audio 機器を接続して、＜メニュー＞ボタンを押し、該当の項目をタッチする

オーディオファイルを再生する

接続した機器に保存されているオーディオファイルを再生します。
表示される項目は接続機器、モード、再生ファイル、仕様、ソフトウェアバージョンなどによって異なります。



- ① **ソース名、接続方法、デバイス名**
選択しているソース名が表示されます。
iPhone を選択している場合は、接続方法も表示されます。
BLUETOOTH Audio 機器を選択している場合は、デバイス名も表示されます。

- ② **楽曲情報表示**
曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなどが表示されます。曲名、アルバム名を取得していない場合は、ファイル名、フォルダ名が表示されます。

- ③ **音声形式**
再生ファイルの音声形式が表示されます。
- ④ **アルバムアートワーク**
アルバムアートワークを表示されます。接続するデバイスやデータによってアルバムアートワークが表示されない場合があります。
- ⑤ **再生リスト名**
選曲方法の再生リスト名が表示されます。
➡再生リストについて (P.38)
- ⑥ **ファイル番号**
再生中のファイル番号が表示されます。
- ⑦ **シークバー**
現在の再生位置が表示されます。
バーをドラッグ、またはタッチして再生位置を変更できます。
- ⑧ **演奏時間 / 総演奏時間**
演奏時間と総演奏時間が表示されます。
- ⑨ **操作キー**

キー	説明
[同乗者スリープ]	同乗者スリープの設定をオン / オフで切り替えます。 ➡同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.27)
[▶/] または [▶]/[]	再生または一時停止（ポーズ）します。

キー	説明
[◀◀]/[▶▶]	● [▶▶] をタッチすると次の曲を再生します（スキップ）。 ● [◀◀] をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに [◀◀] をタッチすると前の曲を再生します。 ● タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
[📁] / [📁+]	前 / 次のフォルダの先頭ファイルから再生します（* カテゴリーモード再生時には表示されません）。
[表示モード]	情報表示と再生リスト表示を切り替えます。
[デバイス 切替]	機器選択画面を表示します。 ➡登録した機器の設定をする (P.54)
[AV 設定]	AV 設定画面を表示します。 ➡AV の設定をする (P.27)
[🔄 ALL]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
[🔀 OFF]	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。

USB メモリー/iPhone/BLUETOOTH Audio 機器を使う

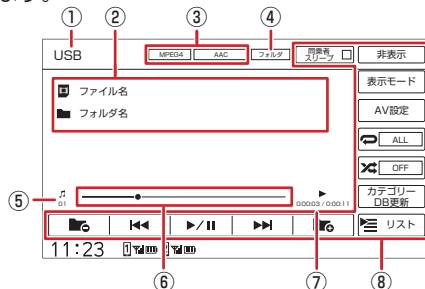
キー	説明
[カテゴリー] [DB更新]	再生中のUSBメモリーの、 カテゴリーデータベースを 作成または更新します。 ➡カテゴリーデータベース を作成、更新する (P.39)
[リスト]	再生リストを表示します。 USBメモリー再生中の操 作については、➡再生リス トについて (P.38) をご 覧ください。
[人]/[●]/ [🎧]/[≡]	カテゴリーまたは曲リス トを表示します。

知識

- 曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名、ファイル名、フォルダ名でそれ
ぞれの情報が全て表示されないときは、
[◀◀] をタッチするとスクロール表示しま
す。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名、
ジャンル名は表示されません。曲名は表示
されますが、スクロールはできません。
- シークバーは走行中でも操作できます。
- 接続機器によっては、通常再生の場合、再
生リストの全ファイルの再生が終わったら
再生を停止するときがあります。繰り返し
聴きたい場合は、リピート再生モードを
ALL に切り替えてください。
- ハイレゾ音源ファイルを再生中は、画面上
中央にインジケーターが表示されます。

ビデオファイルを再生する

接続したUSBメモリーに保存されているビ
デオファイルを再生します。
画面をタッチすると操作キーが表示されます。
表示される項目はモード、再生ファイル、仕様、
ソフトウェアバージョンなどによって異なり
ます。



- ① ソース名
選択しているソース名が表示されます。
- ② ファイル情報表示
ファイル名、フォルダ名が表示されます。
- ③ 映像形式、音声形式
再生ファイルの映像形式、音声形式が表示
されます。
- ④ 再生リスト名
選曲方法の再生リスト名が表示されます。
➡再生リストについて (P.38)
- ⑤ ファイル番号
再生中のファイル番号が表示されます。

- ⑥ シークバー
現在の再生位置が表示されます。
バーをドラッグ、またはタッチして再生位
置を変更できます。
- ⑦ 再生時間 / 総再生時間
再生時間と総再生時間が表示されます。

⑧ 操作キー

キー	説明
[同乗者スリー プ]	同乗者スリープの設定をオ ン/オフで切り替えます。 ➡同乗者スリープ機能/ク リアボイス機能 (P.27)
[非表示]	操作キーを非表示にします。
[▶/]	再生または一時停止（ポー ズ）します。
[◀◀]/[▶▶]	● [▶▶] をタッチすると次 のファイルを再生します (スキップ)。 ● [◀◀] をタッチすると ファイルの先頭に戻り、 さらに [◀◀] をタッチす ると前のファイルを再生 します。 ● タッチし続けると、早戻 しまたは早送りします。
[◀◀]/[▶▶]	前 / 次のフォルダの先頭 ファイルから再生します。

キー	説明
[表示モード]	情報表示と再生リスト表示を切り替えます。 ➡ <u>再生中のファイルリストから再生する (P.38)</u>
[AV 設定]	AV 設定画面を表示します。➡ <u>AV の設定をする (P.27)</u>
[ ALL]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
[ OFF]	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。
[カテゴリー DB 更新]	再生中の USB メモリーの、カテゴリーデータベースを作成または更新します。 ➡ <u>カテゴリーデータベースを作成、更新する (P.39)</u>
[リスト]	再生リストを表示します。 ➡ <u>再生リストについて (P.38)</u>

📖 知識

- 操作キーは一定の時間がすぎると非表示になります。画面右上の [非表示] でも非表示にできます。
- ビデオファイルを再生できるのは USB メモリーのみです。
- Apple CarPlay または Android Auto 接続中は、ビデオファイルを再生できません。

再生中のファイルリストから再生する

1. **画面をタッチする**
操作キーが表示されます。
2. **[表示モード] をタッチする**
再生中のファイルリストが表示されます。
3. **ファイル名をタッチする**
タッチしたファイルが再生されます。

再生リストについて

USB ソースの選曲方法はフォルダリストまたはカテゴリーリストから選択できます。

再生リストを選ぶ

1. **[リスト] をタッチする**
再生リスト画面が表示されます。
2. **選曲したい再生リストを選ぶ**
[カテゴリーリスト]/[フォルダリスト] をタッチすると再生リストが切り替わります。

フォルダリスト：パソコンで保存したファイルをそのままの状態で再生します。[トップ階層へ]、[1 つ上の階層へ] をタッチするとフォルダが表示されます。

カテゴリーリスト：本機でカテゴリーデータベースを作成した USB メモリーをカテゴリーから選んで再生します。[トップ階層へ]、[1 つ上の階層へ] をタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリーが表示されます。

📖 知識

- カテゴリーリストからの選曲にはデータベースを作成する必要があります。カテゴリーデータベースがないときは確認画面が表示されます。

フォルダから再生する

1. **【リスト】をタッチする**
再生リスト画面が表示されます。
カテゴリーリストが表示されている場合はフォルダリストに切り替えます。
➡ **再生リストを選ぶ (P.38)**
2. **再生したいファイル名をタッチする**
選択したファイルから再生が開始され、元の画面に戻ります。
フォルダを選択した場合は、フォルダ内のファイルがリスト表示されます。
[リスト内全曲再生]：リストの最初のファイルから再生します。
[トップ階層へ]：一番上の階層のフォルダに移動します。
[1 つ上の階層へ]：1 つ上の階層のフォルダに移動します。

カテゴリーデータベースを作成、更新する

初めてカテゴリーモードで再生するときは、カテゴリーデータベースを作成します。
アーティスト、アルバムなどのカテゴリーから再生する曲を選択できるようになります。

1. **【カテゴリー DB 更新】をタッチする**
2. **確認画面で【はい】をタッチする**
カテゴリーデータベースが作成または更新されます。

知識

- カテゴリーモードで再生するには、カテゴリーデータベースを作成する必要があります。
- オーディオ / ビデオファイルの追加、消去を行ったときには、カテゴリーデータベースを更新してください。
- カテゴリーデータベースの作成、更新は、USB メモリーに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリーデータベース作成、更新中は他の操作ができません。
- カテゴリーデータベースを作成すると、USB メモリーに「_ContentsDB」フォルダが作成されます。「_ContentsDB」フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。
- カテゴリーデータベースが作成、更新ができない場合は、USB メモリーの使用状況を確認し、USB メモリー内の不要なデータは消去してください。また、書き込みロックされている場合はロックを解除してください。

カテゴリーリストから再生する

1. **【リスト】をタッチする**
再生リスト画面が表示されます。
フォルダリストが表示されている場合はカテゴリーリストに切り替えます。
➡ **再生リストを選ぶ (P.38)**
2. **再生したいカテゴリー、またはファイル名をタッチする**
選択したファイルから再生が開始され、元の画面に戻ります。
カテゴリーを選択した場合は、カテゴリー内のファイルがリスト表示されます。
[リスト内全曲再生]：リストの最初のファイルから再生します。
[🎵📺]：オーディオファイルのリストとビデオファイルのリストを切り替えます。
[トップ階層へ]：一番上の階層のフォルダに移動します。
[1 つ上の階層へ]：1 つ上の階層のフォルダに移動します。

知識

- USB メモリーに収録されているファイル数が多くなるほど各リストが表示されるまでに時間がかかります。
- カテゴリーモードでビデオファイルを選択している場合、ビデオファイルのリストが同じ階層に全て表示されます。

外部機器の映像を見る / 音声を聞く

本機に接続した外部機器の映像や音声を視聴します。

アドバイス

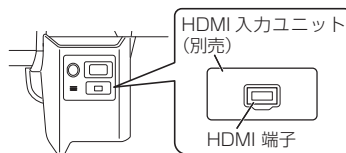
- 外部機器の接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続、挿入しないでください。
- 接続する前に、外部機器と本機の電源を切ってください。(本機の電源を入れたまま AV 機器やポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出ることがあります。)
- 電源を切るときは、接続した機器の電源を切ってから本機の電源を切ってください。

外部機器を再生する

<メニュー>ボタンを押し、[HDMI] をタッチする

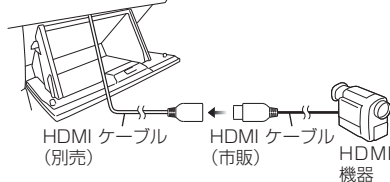
知識

- 操作のしかたはそれぞれの機器の取扱説明書をご確認ください。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるよう調整してください。
- 別売の HDMI 入力ユニットを装着している場合は、HDMI 端子に外部機器を接続することで、映像や音声を視聴できます。



- 別売の HDMI 入力ユニットの取り付け位置は、車種により異なる場合があります。三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- HDMI 機器の接続には別売の HDMI ケーブルが必要です。三菱自動車販売会社へご相談ください。別売の HDMI ケーブルに市販の HDMI ケーブルを接続し、HDMI 機器を接続してください。

グローブボックスなど)



知識

- 別売の HDMI ケーブルはグローブボックスなどに配線されています。
別売の HDMI ケーブルの位置は、車種により異なる場合があります。三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- HDMI 機器の接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続、挿入しないでください。
- 本機が対応している解像度
 - 1280 × 720P 59.94Hz/60Hz
 - 720 × 480P 59.94Hz/60Hz
 - 640 × 480P 59.94Hz/60Hz
- 本機で表示可能な最大解像度は 1280 × 720 となります。
例：HDMI 規格に準拠した 4K 機器 (3840 × 2160) を接続した場合、1280 × 720 に変換された映像が出力されることで、本機での表示が行えます。
- 映像が表示されない、音声が出ないなど正常に動作しない場合は、接続機器が HDMI 規格に準拠しているかご確認ください。
- HDMI 機器の音声は BLUETOOTH で接続されている場合、HDMI ソースで音声が出ないことがあります。この場合、HDMI 機器側で BLUETOOTH 接続をオフにしてください。
- Apple CarPlay または Android Auto として使用している機器を HDMI ソースで使用する場合は、動作を保証できません。

カメラシステム

リヤビューカメラシステムについてのご注意	42
リヤビューカメラの見かた	43
リヤビューカメラの目安線を調整する	44
マルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）を使う	45

三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダー

三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダーの映像を見る	46
録画 / 記録したファイルを再生する	47
ファイルを消去する	48
三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダーの microSD カードを 初期化（フォーマット）する	49
三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダーの設定をする	50

リヤビューカメラシステムについてのご注意

本機に三菱自動車純正用品リヤビューカメラを接続すると、画面に車両後方の映像を表示できます。
カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

注意

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、すぐに止まれる速度（徐行）でご使用ください。

アドバイス

- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- リヤビューカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところで停車してから操作してください。

使用上のお願い

■ カメラには強い衝撃を与えない

カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。破損して火災・感電の原因となることがあります。

■ カメラを汚さない

- カメラ部に泥・雨滴・雪などが付着すると、リヤビューカメラの映りが悪くなりますので、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
- カメラ部に泥・雪などが付着して、泥が固まったり、氷がついてしまっているときは、棒などでたたいて泥や氷を落とさずに、ぬるま湯をかけて洗い流してください。破損して火災・感電の原因となることがあります。

■ タバコなどの火気を近づけない

カメラやコード類にタバコなどの火気を近づけないでください。破損や発火の原因となることがあります。

■ 安全な保守・点検を行うために

- カメラレンズ部は傷を付けない
ボディ洗車する場合やカメラレンズ部の汚れを拭き取る際は傷を付けないよう注意してください。カメラレンズ部への洗車ブラシ等のご使用はしないでください。リヤビューカメラ映像への影響がでることがあります。
- ボディワックスはカメラレンズ部に付けない
ボディワックスをかける場合は、ワックスがカメラレンズ部に付かないよう注意してください。カメラレンズ部のコーティング性能を劣化させる原因となることがあります。

■ カメラの映像について

部分的に明るい光を映したとき、画面が白くぼやけて見えにくくなることがありますが、故障ではありません。

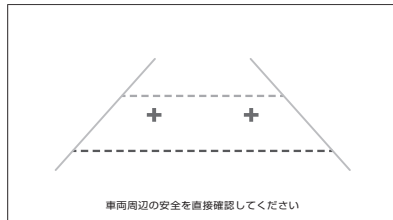
■ 無線機のアンテナを近くに取り付けない

無線機の電波がケーブルに飛び込むと、リヤビューカメラ映像に斜めの縞模様が出ることがあります。

リヤビューカメラの見かた

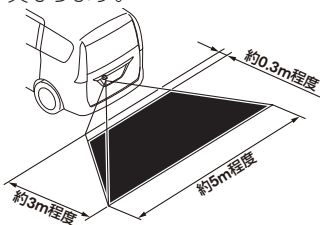
三菱自動車純正用品 リヤビューカメラの映像を表示する

1. シフトレバーを“R”（リバース）にする
リヤビューカメラの映像が表示されます。

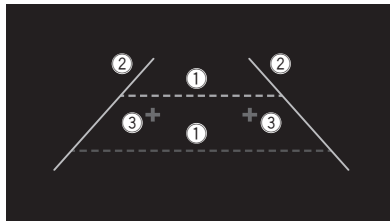


映し出す範囲のイメージ図

※車種によりリヤビューカメラの映し出す範囲が異なります。



目安線について



- ① 距離目安線（緑色：車両後端約 2 m、赤色：車両後端約 0.5 m）
車両後方の距離の目安を表示
- ② 車幅目安線（黄色）
後退したときの車幅の目安を表示
- ③ バックドア開閉目安点（青色）
バックドアの開閉に必要なスペースの目安を表示

知識

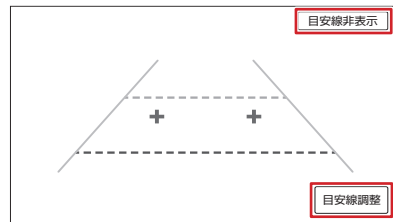
- カメラのレンズ部が汚れていると、映りが悪くなりますので清掃してください。
- 次のような場合は、リヤビューカメラの映像が見づらくなることがありますが、故障ではありません。
 - 暗いところ（夜間など）や極端に暑いとき（寒いとき）は、映りが悪くなることがあります。
 - 直接カメラに強い光が入ると、映像に影響が出ることがあります。
 - 蛍光灯等の照明の下では、画面がちらつくことがあります。
 - バンパーなどからの強い反射光が入ると、映像に影響が出ることがあります。

知識

- 夜間や暗い場所、照明の下などではモニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着すると、リヤビューカメラの映像が一部映らなくなることがあります。

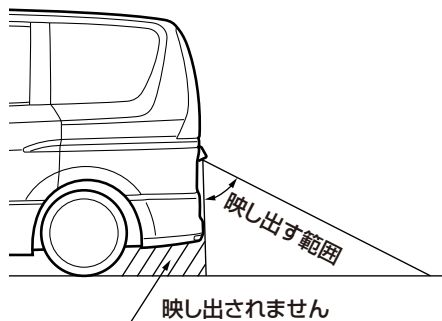
■ リヤビューカメラ操作キーを使う

1. リヤビューカメラ映像をタッチする
リヤビューカメラ操作キーが表示されます。

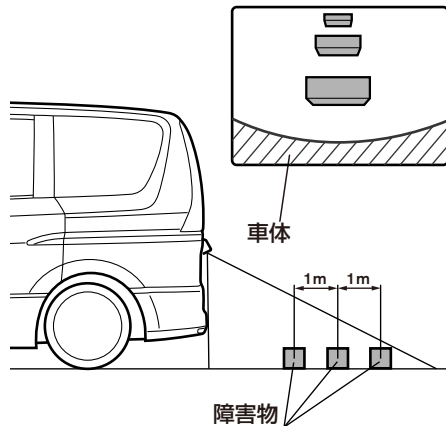


[目安線表示] / [目安線非表示] : 目安線を表示、または目安線を非表示にします。
[目安線調整] : 目安線を調整します。

リヤビューカメラ使用時の ご注意



リヤビューカメラ映像画面



⚠ 警告

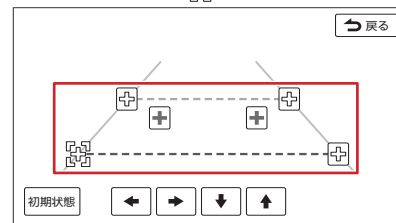
- リヤビューカメラが映し出す範囲には限界があります。後退するときは、直接目で後方および周囲の安全を確認しながら後退を開始してください。
- リヤビューカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リヤビューカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。

⚠ 注意

- リヤビューカメラの映像は広角レンズを使用しておりますので、実際の距離と感覚が異なります。ゆっくり後退してください。
- リヤビューカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた鏡像です。

リヤビューカメラの目安線を 調整する

1. リヤビューカメラ映像をタッチする
2. [目安線調整] をタッチする
リヤビューカメラ操作キーが表示されます。
3. 調整するカーソル (⊕) をタッチする
カーソルに緑枠 (⊞) が追加されます。



4. [←]/[→]/[↓]/[↑] をタッチして、ガイド線を調整する
[初期状態]: ガイド線的位置を初期状態に戻します。

🚗 アドバイス

- リヤビューカメラ画面上の“+”はバックドアの開閉に必要なスペースの目安点です。これ以上車両を後退させるとバックドアを開いたとき障害物とぶつかる危険性があります。

マルチアラウンドモニター (移動物検知機能付き)を使う

マルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）搭載車は、マルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）の映像を表示できます。
※車種によっては、モニター名称が異なります。

アドバイス

- マルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）の注意事項および詳しい操作方法については、車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- 車種によっては、本機の画面にマルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）の映像が表示できない場合があります。

映像を表示する / 非表示にする

■ 映像を表示する

1. < ☆ >（オプション）ボタンを押す、または車両のシフトレバーをリバースに入れる
※車種によっては、< ☆ >ボタンを操作しても表示できない場合があります。この場合、車両側のスイッチを操作して表示させてください。

■ 映像を非表示にする

1. < ☆ >ボタンを数回押す、または車両のシフトレバーをリバース以外に入れる
走行速度が上がると、マルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）の映像から元の画面に切り替わります。
※車種によっては、< ☆ >ボタンを操作しても非表示にできない場合があります。この場合、車両側のスイッチを操作して非表示にさせてください。

ソナーのオン / オフを切り替える

ソナー付きのマルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）装着車の場合は、本機でソナーのオン / オフを切り替えることができます。

1. < ☆ >ボタンを長押しする

アドバイス

- ソナーについて詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- 車種によってはソナーのオン / オフができない場合があります。

三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る

別売の三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、本機の画面で三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見ることができます。

🚗 アドバイス

- 三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの注意事項および詳しい操作方法については、三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

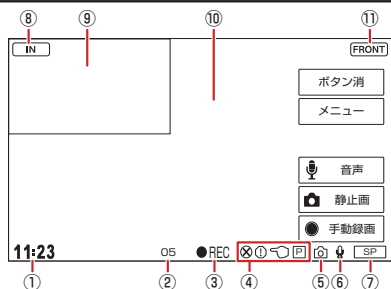
📖 知識

- 三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーは、パソコンとビューアースoftを使用して、ファイルの再生やバックアップなどを行うことができます。詳しくは三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 走行中は、ドライブレコーダーの映像は表示されません。安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご覧ください。

三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を表示する

1. <メニュー>ボタンを押し、[ドライブレコーダー]をタッチする
ドライブレコーダーの映像が表示されます。

画面表示の見かた



① 時計表示

現在の時刻を表示します。

※設定により非表示にできます。

→ システムの設定をする (P.69)

② 録画終了までの残り秒数

手動録画中 / イベント記録中の録画終了までの残り秒数を表示します。

③ 録画マーク

● REC : 常時録画中

● 📷 : 手動録画中

● ① : イベント記録中

① 📷 : 録画停止中

④ エラーマーク

⊗ 📷 : 手動録画不可

⊗ ① : イベント記録不可

⊗ P : 駐車録画不可

⑤ 静止画撮影マーク

静止画を撮影したときに表示します。

⑥ 音声記録マーク

🗣️ : 音声記録オン

🗣️ : 音声記録オフ

⑦ 録画画質マーク

UXP : 最高画質

XP : 高画質

SP : 標準画質

LP : 長時間画質

⑧ インカメラアイコン (IN)

またはリヤカメラアイコン (R)

⑨ インまたはリヤ常時録画映像

⑩ フロント常時録画映像

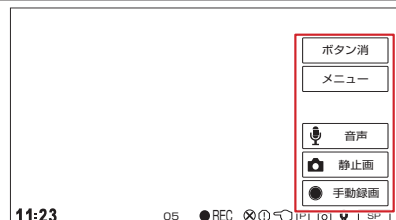
⑪ フロントカメラアイコン (FRONT または 📷)

📖 知識

- 三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーには、「フロント+イン」と「フロント+リヤ」の2種類があります。「イン」カメラをオフに切り替えた場合、「フロント」の映像のみが表示されます。

三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

表示されるキーとはたらき



キー	説明
[ボタン消]	操作キーを非表示にします。
[メニュー]	三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのメニュー画面を表示します。
[音声]	常時録画の音声記録のオン（音声記録する）、オフ（音声記録しない）を切り替えます。
[静止画]	静止画を撮影します。
[手動録画]	手動録画を行います。

知識

- お買い上げ時の設定については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご確認ください。
- 操作キーは一定の時間がすぎると非表示になります。画面の [ボタン消] でも非表示にできます。
- 操作キーは、映像画面をタッチすると表示されます。

知識

- [メニュー] をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。
- トップメニュー画面に切り替えたり、AVソースの切り替えなどをして三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー画面を終了すると録画が再開されます。
- [音声] では手動録画とイベント記録の音声記録オン / オフの切り替えはできません。
- 手動録画中に [手動録画] をタッチすると手動録画を延長できます。

録画 / 記録したファイルを再生する

別売の三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画 / 記録したファイルを本機で再生できます。

録画 / 記録したファイルを選んで再生する

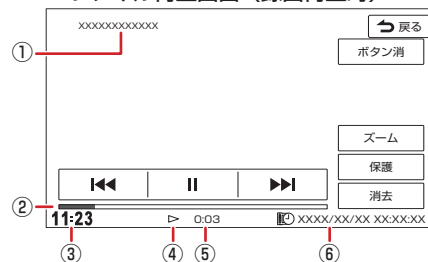
1. ドライブレコーダーの映像画面をタッチし、[メニュー] → [ファイル再生] をタッチする
2. フォルダを選んでタッチする
3. 再生したいファイルを選んでタッチする

知識

- 走行中は録画 / 記録したファイルを再生することはできません。
- 手順 1 で [メニュー] をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。

画面表示の見かた

ファイル再生画面（録画再生時）



- ① ファイル名
- ② プログレスバー
再生の進捗を表示します。
- ③ 時計表示
現在の時刻を表示します。
※設定により非表示にできます。
④ システムの設定をする (P.69)
- ④ 動作状態
▶：通常再生 ||：一時停止
▶▶：早送り ◀◀：早戻し
|▶：スロー送り ◀|：スロー戻し
📷：静止画ファイル再生

⑤ 再生時間

⑥ 再生ファイルの日時

知識

- 再生中のファイルが保護されていると、ファイル名に保護マーク (🔒) が表示されます。

表示されるキーとはたらき

ファイル再生画面（録画再生時）



キー	説明
[ボタン消]	操作キーを非表示にします。
[ズーム]	ズーム操作キーを表示し、映像を拡大 / 縮小します。
[保護] / [保護解除]	再生中のファイルの保護 / 保護解除が切り替わります。 ※常時録画ファイルは保護できません。
[消去]	再生中のファイルを消去します。 ※保護されているファイルは消去されません。
[◀◀] / [▶▶]	前のファイルに戻します。 録画ファイルの再生中にタッチしたままにすると、早戻しします。 録画ファイルの一時停止中にタッチしたままにすると、スロー戻しします。
[⏏] / [▶]	一時停止 / 再生します。

キー	説明
[▶▶]	次のファイルに進めます。 録画ファイルの再生中にタッチしたままにすると、早送りします。 録画ファイルの一時停止中にタッチしたままにすると、スロー送りします。

知識

- 操作キーは一定の時間がすぎると非表示になります。画面の [ボタン消] でも非表示にできます。
- 操作キーは、映像画面をタッチすると表示されます。
- 常時録画ファイルは保護できません。

ファイルを消去する

別売の三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画 / 記録したファイルを消去できます。

ファイルを選んで消去する

1. ドライブレコーダーの映像画面をタッチし、[メニュー] → [ファイル再生] をタッチする
2. フォルダを選んでタッチする
3. [ファイル管理] → [ファイルを選択して消去] をタッチする
4. リストから消去したいファイルを選んでタッチし、☑ (チェックマーク) を付ける
タッチするたびに ☑ (チェックマーク) の表示 / 非表示が切り替わります。
5. [決定] をタッチし、確認画面で [はい] → [はい] をタッチする
☑ (チェックマーク) を付けたファイルが消去されます。

知識

- 手順 1 で [メニュー] をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。

📖 知識

- 保護されたファイルは消去されません。
- [全て選択] をタッチすると全てのファイルに☑ (チェックマーク) を付けます。(保護されたファイルは☑ (チェックマーク) が付きません。)
- [全て解除] をタッチすると全てのファイルの☑ (チェックマーク) を消します。

フォルダ内のファイルを 全て消去する

1. ドライブレコーダーの映像画面をタッチし、[メニュー] → [ファイル再生] をタッチする
2. フォルダを選んでタッチする
3. [ファイル管理] → [フォルダ内のファイルを全て消去] をタッチし、確認画面で[はい] → [はい] をタッチする

📖 知識

- 保護されたファイルは消去されません。
- 手順 1 で [メニュー] をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。

三菱自動車純正用品オリジナル ナビゲーション連動ドライブレコーダーの microSD カードを 初期化 (フォーマット) する

別売の三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの microSD カードを初期化 (フォーマット) します。

🚗 アドバイス

- microSD カードを初期化 (フォーマット) すると、保護したファイルを含め全てのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップしてから初期化 (フォーマット) してください。

1. ドライブレコーダーの映像画面をタッチし、[メニュー] → [SD カード初期化] をタッチする
2. 確認画面で [はい] → [はい] をタッチする

三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする

別売の三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、本機で三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定を行うことができます。

1. <メニュー>ボタンを押し、[ドライブレコーダー]をタッチする
ドライブレコーダーの映像が表示されます。
2. 画面をタッチし、[メニュー]をタッチする

📖 知識

- 手順2で[メニュー]をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。
- 三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの報知音やファイル再生音声は、三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー本体のスピーカーから出力されます。

(お買い上げ時の設定については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご確認ください。)

項目		説明
[駐車録画設定]	[録画時間]	駐車録画の録画時間を設定します。 「録画しない」に設定すると、駐車録画を行いません。
	[録画待機開始時間]	車両のエンジンスイッチ（電源ポジション）を OFF にした直後から一定時間、駐車録画を無効にします。無効にする時間を設定してください。 「降車時から」に設定すると、車両のエンジンスイッチ（電源ポジション）を OFF にした直後から駐車録画が有効になります。
	[録画待機終了時間]	車両のエンジンスイッチ（電源ポジション）を ON にする直前の一定時間、駐車録画を無効にします。無効にする時間を設定してください。 「乗車時まで」に設定すると、車両のエンジンスイッチ（電源ポジション）を ACC または ON にする直前の駐車録画を無効にしません。
	[上書き保存]	駐車録画のファイル数がいっぱいになると、古い駐車録画ファイルから順に上書き「ON」（上書きする）、「OFF」（上書きしない）を設定します。
[駐車録画設定]	[感度設定]	駐車録画を開始する検出の感度を 5 段階で設定します。 高い値に設定するほどに、小さな衝撃で検知します。

三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

項目		説明
[動画記録設定]	[動画画質]	録画する映像の画質を設定します。
	[音声記録]	録画時に音声を記録するかどうかを設定します。
	[上書き保存 (手動)]	手動録画のファイル数がいっぱいになると、古い手動録画ファイルから順に上書き「ON」(上書きする)、「OFF」(上書きしない)を設定します。
	[上書き保存 (イベント)]	イベント記録のファイル数がいっぱいになると、古いイベント記録ファイルから順に上書き「ON」(上書きする)、「OFF」(上書きしない)を設定します。
	[感度設定 (イベント)]	イベント記録を開始する検出の感度を 5 段階で設定します。 高い値に設定するほどに、小さな衝撃で検知します。
[システム設定]	[通知音量]	[]/[] をタッチして、三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの報知音の音量を設定します。
	[再生音量]	[]/[] をタッチして、三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのファイル再生音量を設定します。
	[出荷時設定に初期化]	確認画面で [はい] → [はい] をタッチして、三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[システムバージョン]	三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのシステムバージョンを表示します。
[SD カード初期化]		確認画面で [はい] → [はい] をタッチして、三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの microSD カードを初期化 (フォーマット) します。
[システム更新]		確認画面で [はい] をタッチして、三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのシステムを更新します。 ※システム更新については三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

MEMO



カメラシステム・ドライブレコーダー

BLUETOOTH 機器の設定

BLUETOOTH 機器の登録について	54
登録した機器の設定をする	54
BLUETOOTH の設定をする	55

ハンズフリーフォンを使う

ハンズフリーフォンの基本操作	56
電話をかける電話機を選ぶ	58
ワンタッチダイヤルに登録する	58

BLUETOOTH 機器の登録について

本機は、BLUETOOTH 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や BLUETOOTH Audio の再生ができます。

- BLUETOOTH 機器は 10 台まで登録できます。
- BLUETOOTH の対応プロファイルについては、🔗BLUETOOTH 対応プロファイル (P.88) をご覧ください。
- 本機の電源を入れたときに、ハンズフリーで使用する携帯電話と接続できない場合は、携帯電話未接続案内をします。
🔗BLUETOOTH の設定をする (P.55)

📖 知識

- BLUETOOTH 機器の操作方法は、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

BLUETOOTH 機器を登録する

本機で BLUETOOTH 機器を利用するには登録（ペアリング）が必要です。
登録操作は 🔗BLUETOOTH 機器を登録する (P.20) をご覧ください。

登録した機器の設定をする

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定] → [機器選択リスト] をタッチする
2. 設定する BLUETOOTH 機器名の右側のハンズフリーや BLUETOOTH Audio のアイコン表示部をタッチする

🔗：ハンズフリー接続

🔊：BLUETOOTH Audio 接続



3. 設定する種別をタッチして、[閉じる] をタッチする
[電話 1]：「電話 1」として使用します。
[電話 2]：「電話 2」として使用します。
[BLUETOOTH Audio]：BLUETOOTH Audio として使用します。

📖 知識

- BLUETOOTH Audio 接続は 1 台のみ設定できます。
- [消去] をタッチすると、本機に登録した BLUETOOTH 機器を消去することができます。

📖 知識

- 🍏：Apple CarPlay の対応デバイスで接続状態を接続中はカラー、非接続をグレーで表します。
- 📱：Android Auto の対応デバイスで接続状態を接続中はカラー、非接続をグレーで表します。

BLUETOOTH 機器の接続を解除する

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定] → [機器選択リスト] をタッチする
2. 解除したい BLUETOOTH 機器をタッチする
3. 解除する種別をタッチして、[閉じる] をタッチする
接続を全て解除するには、☑（チェックマーク）を全て外します。

BLUETOOTH の設定をする

＜メニュー＞ボタンを押し、[情報・設定] → [システム設定] → [BLUETOOTH] をタッチする

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[BLUETOOTH]	BLUETOOTH 接続の ON* (接続する)、OFF (接続しない) を設定します。
[機器選択リスト]	本機に BLUETOOTH 機器を登録します。➡ BLUETOOTH 機器を登録する (P.20)
[デバイス名]	現在の本機のデバイス名 (「DJ1」) が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。
[デバイスアドレス]	本機のデバイスアドレスが表示されます。
[携帯電話未接続案内]	本機の電源を入れたときに、「電話 1」または「電話 2」に接続されている BLUETOOTH 電話機と接続できなかった場合にメッセージと音声で案内する接続確認の ON* (案内する)、OFF (案内しない) を設定します。
[着信の自動応答]	ON に設定すると着信時に、自動的に通話可能になります。ON (自動応答する)、OFF* (自動応答しない) を設定します。

ハンズフリーフォンを使う

ハンズフリーフォンの基本操作

本機に登録（ペアリング）した BLUETOOTH 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。電話を着信すると、着信画面が表示され電話を受けたり、切ることができます。

知識

- Apple CarPlay または Android Auto 接続中は、本機のハンズフリーフォン機能を使用できません。Apple CarPlay または Android Auto の電話機能を利用してください。

準備する

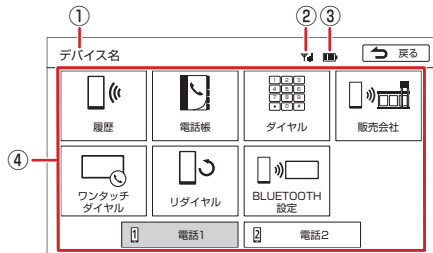
ハンズフリーフォンを使用するには、本機に BLUETOOTH 対応携帯電話、またはスマートフォンを BLUETOOTH 機器として登録（ペアリング）が必要です。

➡BLUETOOTH 機器を登録する (P.20)

電話画面を表示する

<メニュー>ボタンを押し、[電話] をタッチする

電話メニューが表示されます。



① デバイス名

発信に使用する BLUETOOTH 電話機のデバイス名が表示されます。

② 電波受信状態

接続した BLUETOOTH 電話機の電波受信状態が表示されます。

③ バッテリー残量

接続した BLUETOOTH 電話機のバッテリー残量が表示されます。

④ メニューリスト

[履歴]	発信、着信、不在着信履歴を表示します。 非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。また、非通知の場合、履歴から電話をかけ直すことはできません。
[電話帳]	電話帳を表示します。 電話帳を利用するには、はじめに [登録] をタッチし、電話帳の登録が必要です。 [消去] をタッチすると、本機に登録した電話帳を消去します。
[ダイヤル]	電話番号を入力します。 走行中は電話番号を入力できません。
[販売会社]	購入した三菱自動車販売会社に発信します。

[ワンタッチダイヤル]	ワンタッチダイヤルに登録された番号に発信します。
[リダイヤル]	直前にハンズフリー通話でかけた番号に発信します。
[BLUETOOTH 設定]	BLUETOOTH 機器を設定します。➡BLUETOOTH の設定をする (P.55)
[電話 1]/ [電話 2]	発信に使用する電話機を選択します。➡電話をかける電話機を選ぶ (P.58)

知識

- BLUETOOTH 電話機のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の BLUETOOTH 電話機の表示と一致しない場合や表示できない場合があります。
- BLUETOOTH 対応携帯電話を 2 台ペアリングしている場合、「電波受信状態」および「バッテリー残量」は、①デバイス名に表示されている携帯電話の情報です。

電話帳の登録

- 携帯電話が BLUETOOTH プロファイルの PBAP に対応している場合に電話帳を登録することができます。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録できます。
- 携帯電話によっては、電話帳および履歴情報へアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録がはじまります。

ハンズフリーで電話を受ける / 切る

1. [] をタッチする
[] をタッチすると、着信を拒否します。



2. 通話が終わったら、[] をタッチする

知識

- 電話機を2台接続しているときに通話すると、通話していない電話機とのハンズフリー接続が切れます。通話が終わると再度ハンズフリー接続されます。
- [] をタッチするとキーの表示を最小化します。もう一度表示するには [操作画面に戻る] をタッチします。
- ハンズフリー通話中は、<音量+>/<音量->ボタンで受話音量を調整できます。
- Apple CarPlay または Android Auto 接続中は、それぞれのアプリケーションの電話を使用します。

知識

- ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量は、AVの音量とは別に調整できます。
➡ [システムの設定をする \(P.68\)](#)
- 着信したときに自動で電話を受けるように設定できます。
➡ [BLUETOOTH の設定をする \(P.55\)](#)
- 車種によってステアリングスイッチ（オーディオ）でも電話を受けたり、切ることができます。
➡ [ステアリングスイッチ（オーディオ） \(P.14\)](#)

通話中画面の見かた



- ① [ミュート]/[通話]
タッチするたびに [ミュート] と [通話] に切り替わります。
[ミュート] をタッチすると、送話音声は相手に聞こえなくなります。
[通話] をタッチすると、送話音声は相手に聞こえるようになります。
- ② [送話音量]
通話中のエコーキャンセル、ノイズリダクションの値、および送話音量を調整します。

- ③ [ダイヤル]
ダイヤルをするための 10 キーが表示されます。
- ④ []
ハンズフリーでの通話と、携帯電話機での通話を切り替えます。
- ⑤ []
電話を切ります。
- ⑥ []
タッチするとキーの表示を最小化します。もう一度表示するには [操作画面に戻る] をタッチします。
- ⑦ 通話情報
通話相手の名前、通話時間、現在接続中の BLUETOOTH 電話機の電波受信状態とバッテリー残量が表示されます。

アドバイス

- 走行中に携帯電話での通話に切り替えて、運転者が通話することはおやめください。

知識

- 通話中の本機の通話時間表示と携帯電話の通話時間表示は同じにはなりません。（通話時間は目安です。）
- 接続する携帯電話によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- Apple CarPlay または Android Auto の電話で通話中の場合は、表示される項目が異なります。

電話をかける電話機を選ぶ

携帯電話またはスマートフォンを2台接続している場合に、発信に使用する電話機を選択します。

1. <メニュー>ボタンを押し、[電話]をタッチする
2. [電話 1] または [電話 2] をタッチする
キーが選択状態になり、デバイス名が左下に表示されます。

ワンタッチダイヤルに登録する

よく使用する電話番号をワンタッチダイヤルに登録すると、簡単に発信できます。
あらかじめワンタッチダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。

📖 知識

- ワンタッチダイヤルは8件まで登録できます。

1. <メニュー>ボタンを押し、[電話] → [ワンタッチダイヤル] → [編集] をタッチする
2. 登録する位置をタッチする
3. 登録方法をタッチし、電話番号を登録する
[履歴から登録]: 登録する電話番号を発信、着信、不在着信履歴から選んでタッチします。
[電話帳から登録]: 登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。
[10キーで登録]: 電話番号を入力し、[登録]をタッチします。

📖 知識

- [全て消去]をタッチすると、全てのワンタッチダイヤルが消去されます。
- 登録したワンタッチダイヤルをタッチし[消去]をタッチすると、選択したワンタッチダイヤルが消去されます。

Apple CarPlay を使う

Apple CarPlay について	60
Apple CarPlay を接続する	60
Apple CarPlay の操作	61

Android Auto を使う

Android Auto について	62
Android Auto を接続する	62
Android Auto の操作	63

Apple CarPlay について

本機に Apple CarPlay 対応の iPhone を接続すると、Apple CarPlay を利用することができます。

Apple CarPlay について詳しくは、Apple 社の Web サイトをご覧ください。

■ 接続可能な iPhone

接続可能な iPhone や Apple CarPlay の使いかた（概要）については、下記の URL をご覧ください。

https://www.kenwood.com/jp/car/oem/dop/dj1/supportcontent_1m/

📖 知識

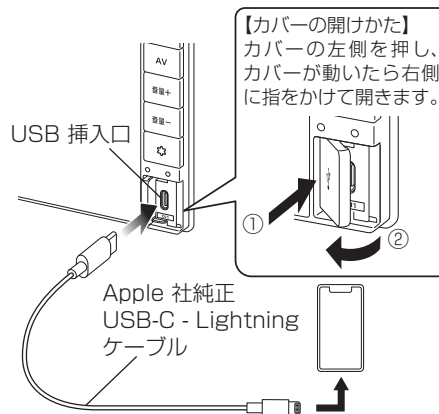
- Apple CarPlay 接続中は、BLUETOOTH 機器の登録ができません。
- 別の機器でハンズフリー通話機能を使用中の場合は、BLUETOOTH 接続が解除されます。
- 正しく動作しないときは iPhone を接続しなおしてください。
- iPhone と接続した Apple 社純正の USB-C - Lightning ケーブルまたは Apple 社純正の USB-C 充電ケーブルは、車両側機器の操作を妨げないように固定してください。交通事故や誤動作の原因となります。

Apple CarPlay を接続する

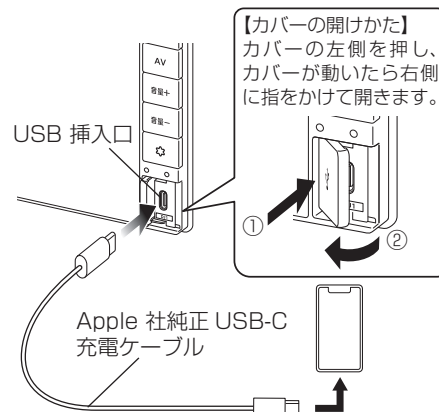
■ USB 接続する場合

1. USB 挿入口に Apple 社純正の USB-C - Lightning ケーブル（Lightning コネクタ搭載 iPhone）または Apple 社純正の USB-C 充電ケーブル（USB-C コネクタ搭載 iPhone）を接続し、iPhone を接続する

● iPhone が Lightning コネクタの場合



● iPhone が USB-C コネクタの場合



■ ワイヤレス接続する場合

1. 本機に使用する iPhone を BLUETOOTH 機器として登録する
 - 登録の方法は、🔄BLUETOOTH 機器を登録する (P.20) をご覧ください。
 - iPhone の Wi-Fi 機能がオンになっていることを確認してください。
2. Apple CarPlay 開始の確認メッセージが表示されたら、[はい] をタッチする
Apple CarPlay が起動します。

📖 知識

- iPhone の接続には、Apple 社純正の USB-C - Lightning ケーブルまたは Apple 社純正の USB-C 充電ケーブル（USB 挿入口に接続できる形状の接続口のもの）をお使いください。純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。

📖 知識

- iPhone を USB 接続した場合、ロック解除をうながすメッセージが iPhone に表示されることがあります。その際は、iPhone のロックを解除してご利用ください。
- iPhone の BLUETOOTH 機能と Wi-Fi 機能をオンにしてください。
- 2 台以上のスマートフォンが登録されている場合は、Apple CarPlay ソースとして使用する iPhone を選択します。👉 ワイヤレス接続している iPhone を切り替える (P.61) をご覧ください。
- Apple CarPlay を利用しない場合は、iPhone 側の設定メニューで Apple CarPlay 機能をオフにしてください。

USB 接続している iPhone を取り外す

ソースを Apple CarPlay 以外に切り替えてから、iPhone を取り外します。Apple CarPlay ソースのまま取り外すと、iPhone 内のデータが破損する場合があります。

📖 知識

- 車のエンジンスイッチ（電源ポジション）を「OFF」にしたあとは、必ず iPhone を取り外してください。iPhone の電源が切れず、iPhone のバッテリーを消耗することがあります。

ワイヤレス接続している iPhone を切り替える

■ Apple CarPlay で使用中の iPhone との接続を解除する

1. <メニュー> ボタンを押し、[情報・設定] → [機器選択リスト] をタッチする
2. 接続を解除する iPhone をタッチする
🟢 (カラー) : 現在 Apple CarPlay に使用されている iPhone
🟡 (グレー) : Apple CarPlay として使用可能な iPhone
iPhone との接続が解除され、Apple CarPlay が停止します。

■ Apple CarPlay として使用する iPhone を接続する

1. <メニュー> ボタンを押し、[情報・設定] → [機器選択リスト] をタッチする
2. 接続する iPhone をタッチする
🟡 (グレー) : Apple CarPlay として使用可能な iPhone
iPhone と接続され、Apple CarPlay が使用可能となります。

Apple CarPlay の操作

Apple CarPlay 画面を表示する

1. <メニュー> ボタンを押し、[Apple CarPlay] をタッチする
Apple CarPlay 画面が表示されます。

■ ディスプレイオーディオの操作画面に戻す

1. <AV> ボタンを押す
ディスプレイオーディオの操作画面（ラジオやトップメニュー画面など）が表示されます。

📖 知識

- Apple CarPlay 画面に表示される [Mitsubishi] アイコンをタッチしても、ディスプレイオーディオの操作画面に戻すことができます。

Siri を使う

1. <🗨️> ボタンを長押しする
Siri（音声認識機能）が起動します。
2. 本機のマイクに向かって話す

■ Siri を終了する

1. <🗨️> ボタンを押す

📖 知識

- 車種によってステアリングスイッチでも Siri を使うことができます。
👉 ステアリングスイッチ（オーディオ） (P.14)

Android Auto について

本機に Android Auto アプリケーションをインストールしている Android スマートフォンを接続すると、ハンズフリー通話、Android スマートフォンの曲再生などの操作ができます。Android Auto について詳しくは、下記の URL をご覧ください。

<https://www.android.com/auto/>

■ 接続可能な Android スマートフォン

- USB 接続の場合
有効なデータプランを持つ互換性のある Android スマートフォン
- ワイヤレス接続の場合
有効なデータプランを持つ互換性のある Android 11.0 以降のスマートフォン

互換性について詳しくは、下記の URL をご覧ください。

<https://support.google.com/androidauto/answer/6348019>

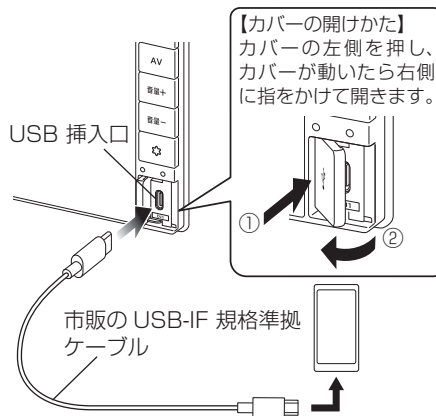
Android Auto の使いかた (概要) については、下記の URL をご覧ください。

https://www.kenwood.com/jp/car/oem/dop/dj1/supportcontent_2m/

Android Auto を接続する

■ USB 接続する場合

1. USB 挿入口に市販の USB-IF 規格準拠ケーブルを接続し、Android スマートフォンを接続する



■ ワイヤレス接続する場合

1. 本機に使用する Android スマートフォンを BLUETOOTH 機器として登録する
 - 登録の方法は、[👉BLUETOOTH 機器を登録する \(P.20\)](#) をご覧ください。
2. 確認メッセージが表示されたら、**【はい】**をタッチする
Android Auto が起動します。

📖 知識

- ハンズフリー通話機能を使用する場合は BLUETOOTH も接続します。
[👉BLUETOOTH 機器を登録する \(P.20\)](#)
- 別の機器でハンズフリー通話機能を使用中の場合は、BLUETOOTH 接続が解除されます。
- 接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。
- Android スマートフォンと接続した USB ケーブルは車両側機器の操作を妨げないように固定してください。交通事故や誤動作の原因となります。
- Android スマートフォンの BLUETOOTH 機能と Wi-Fi 機能をオンにしてください。
- 2 台以上のスマートフォンが登録されている場合は、Android Auto ソースとして使用する Android スマートフォンを選択します。[👉 ワイヤレス接続しているスマートフォンを切り替える \(P.63\)](#) をご覧ください。
- Android Auto を利用しない場合は、Android スマートフォン 側の設定メニューで Android Auto 機能をオフにしてください。

USB 接続している Android スマートフォンを取り外す

ソースを Android Auto 以外に切り替えてから、Android スマートフォンを取り外します。Android Auto ソースのまま取り外すと、Android スマートフォン内のデータが破損する場合があります。

📖 知識

- 車のエンジンスイッチ（電源ポジション）を「OFF」にしたあとは、必ず Android スマートフォンを取り外してください。Android スマートフォンの電源が切れず、Android スマートフォンのバッテリーを消耗することがあります。

ワイヤレス接続しているスマートフォンを切り替える

■ Android Auto で使用中のスマートフォンとの接続を解除する

1. <メニュー> ボタンを押し、[情報・設定] → [機器選択リスト] をタッチする
2. 接続を解除するスマートフォンをタッチする
▲（カラー）：現在 Android Auto に使用されているスマートフォン
▲（グレー）：Android Auto として使用可能なスマートフォン
確認メッセージが表示されます。
3. [はい] をタッチする
スマートフォンとの接続が解除され、Android Auto が停止します。

■ Android Auto として使用するスマートフォンを接続する

1. <メニュー> ボタンを押し、[情報・設定] → [機器選択リスト] をタッチする
2. 接続するスマートフォンをタッチする
▲（グレー）：Android Auto として使用可能なスマートフォン
スマートフォンと接続され、Android Auto が使用可能となります。

Android Auto の操作

Android Auto 画面を表示する

1. <メニュー> ボタンを押し、[Android Auto] をタッチする
Android Auto 画面が表示されます。

■ ディスプレイオーディオの操作画面に戻す

1. <AV> ボタンを押す
ディスプレイオーディオの操作画面（ラジオやトップメニュー画面など）が表示されます。

📖 知識

- Android Auto 画面に表示される [Mitsubishi] アイコンをタッチしても、ディスプレイオーディオの操作画面に戻すことができます。

Google アシスタントを使う

1. <アリア> ボタンを長押しする
Google アシスタント（音声アシスタントアプリ）が起動します。
2. 本機のマイクに向かって話す

■ Google アシスタントを終了する

1. <アリア> ボタンを押す

📖 知識

- 車種によってステアリングスイッチでも Google アシスタントを使うことができます。
➡ ステアリングスイッチ（オーディオ）(P.14)

MEMO

情報表示や設定について

情報・設定メニューについて	66
---------------	----

システム設定

システムの設定をする	67
個人情報を初期化する	69

情報を見る

接続状態を確認する	70
システム情報を見る	70

情報・設定メニューについて

情報・設定メニューでは、本機に関する情報の表示や、サウンド、画質などに関する設定のカスタマイズができます。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定] をタッチする

項目	機能・操作説明
[システム情報]	本機のファームウェアのバージョンに関する情報を表示します。➡ システム情報を見る (P.70)
[イージーセットアップ]	イージーセットアップを行います。➡ イージーセットアップを行う (P.19)
[AV 設定]	バランスや音質など AV サウンドの設定をします。➡ AV の設定をする (P.27)
[システム設定]	BLUETOOTH や音量 / 音質などシステムに関する設定をします。➡ システムの設定をする (P.67)
[画面消し]	画面表示をオフにします。➡ 画面表示をオフにする (P.16)
[画質調整]	画面の明るさなど、画質に関する設定を行います。➡ 画面の明るさおよび黒レベルを調整する (P.16)
[機器選択リスト]	本機に BLUETOOTH 機器を登録、変更、または削除します。➡ BLUETOOTH 機器を登録する (P.20) 、 ➡ 登録した機器の設定をする (P.54)

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定]→[システム設定]をタッチする

(* お買い上げ時の設定です。)

項目			機能・操作説明
[BLUETOOTH]			BLUETOOTH 接続や登録などを設定します。 ➡ BLUETOOTH の設定をする (P.55)
[スマートフォン連携]	[Apple CarPlay 設定]	[案内音声 /Siri の音量]	Apple CarPlay 使用時の案内音声、Siri の音量 (0 ～ 19* ～ 40) を設定します。
		[着信音量]	Apple CarPlay 使用時の着信音量 (0 ～ 15* ～ 40) を設定します。
		[受話音量]	Apple CarPlay 使用時の受話音量 (0 ～ 23* ～ 40) を設定します。
	[Android Auto 設定]	[案内音声 /Google アシスタントの音量]	Android Auto 使用時の案内音声、Google アシスタントの音量 (0 ～ 19* ～ 40) を設定します。
		[着信音量]	Android Auto 使用時の着信音量 (0 ～ 15* ～ 40) を設定します。
		[受話音量]	Android Auto 使用時の受話音量 (0 ～ 23* ～ 40) を設定します。
		Android Auto 自動起動	Android Auto 対応スマートフォンを接続したときに、自動的に Android Auto 画面を表示するか ON (自動起動する) しないか OFF* (自動起動しない) を設定します。
		Android Auto ワイヤレス接続リセット	Android Auto をワイヤレス接続するときの暗号化キー (パスワード) を更新します。タッチすると確認メッセージが表示され、[はい] をタッチすると本機が再起動し暗号化キー (パスワード) が更新されます。 ※セキュリティのため暗号化キー (パスワード) は定期的に変更することをお勧めします。
[オプションスイッチ]			コントロールパネルの<  > (オプション) ボタンに割り当てる機能 (消音* / AV ソース切替 / 電話リダイヤル発信 / ライト点灯時の明るさアップ / ドライブレコーダー手動録画*) を設定します。 マルチアラウンドモニター (移動物検知機能付き) 搭載車に本機を装着している場合は、オプションスイッチ設定はできません。

★ オプションの装着により異なります。

項目		機能・操作説明
[音量 / 音質]	[音声の音量]	出力する音声の音量（1 ～ 15* ～ 40）を設定します。
	[音声出力時の AV 音量]	音声出力時の AV ソースの音量（そのまま / 下げる* / 消音）を設定します。
	[リバース時の AV 音量ダウン]	バックするときに AV ソースの音量の ON*（下げる）、OFF（下げない）を設定します。
	[音量スイッチでの音声 / 通話音量調整]	ON * に設定すると出力する音声の音量とハンズフリー通話中の受話音量は、それぞれく音量 + > / < 音量 - > ボタンで調整することができます。OFF に設定すると出力する音声の音量とハンズフリー通話中の受話音量の調整ができなくなります。
	[着信音量]	着信音量（0 ～ 15* ～ 40）を設定します。
	[受話音量]	相手の声の音量（受話音量：0 ～ 23* ～ 40）を設定します。 ※接続した携帯電話によっては、携帯電話側で設定した受話音量になる場合があります。
	[送話音量]	相手に伝わる自分の声の音量（送話音量：1 ～ 11* ～ 20）を設定します。
	[エコーキャンセル]	エコーキャンセルのレベルを設定します。
	[ノイズリダクション]	ノイズリダクションのレベルを設定します。
[ユーザー切替]	[ユーザー選択]	本機は 2 ユーザー分の設定を保持し、切り替えることができます。ユーザーを選択します。
	[ユーザー名編集]	ユーザー名を編集します。
[言語]	[表示言語]	本機に表示する言語を設定します。日本語*、英語、韓国語、中国語から選択します。
	[音声言語]	音声出力に使用する言語を設定します。日本語*、英語、韓国語、中国語から選択します。

システム設定

項目	機能・操作説明
[その他設定]	
[販売会社専用メニュー]	三菱自動車販売会社専用のメニューです。変更は行わないでください。
[接続確認]	GPS アンテナなど各接続状態を確認します。 ➡ <u>接続状態を確認する (P.70)</u>
[個人情報の初期化]	ユーザーが登録したデータ（電話番号など）を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。 ➡ <u>個人情報を初期化する (P.69)</u>
[操作音の出力]	操作音の ON*（出力する）、OFF（出力しない）を設定します。
[時計表示]	時計の ON*（表示する）、OFF（表示しない）を設定します。
[メニュー配置変更]	トップメニューに表示するキーの配置を変更します。 ➡ <u>メニューのキー配置を変更する (P.17)</u>
[オープンソースライセンス]	ライセンスを表示します。
[センサー学習結果の初期化]	センサー学習結果を初期化します。

⚠ 注意

- 初期化中は AV ソースを切り替える、車両のエンジンスイッチを切り替えるなど他の操作をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

個人情報を初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定] → [システム設定] → [その他設定] をタッチする
2. [個人情報の初期化] をタッチして、[はい] をタッチする
全ての設定がお買い上げ時の状態に戻り、本機が再起動します。

📖 知識

- 別売の三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー★が接続されている場合は、ドライブレコーダーの設定は初期化されません。➡ 三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする (P.51) で消去してください。

★ オプションの装着が必要です。

接続状態を確認する

<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定] → [システム設定] → [その他設定] → [接続確認] をタッチする
本機に接続している各種機器の接続状態を確認します。

項目	説明
GPS アンテナ	GPS アンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
パーキングブレーキ	パーキングブレーキの状態を表示します。 パーキングブレーキがかかっている場合は「ON」、パーキングブレーキが解除されている場合は「OFF」と表示します。
車速	車速パルスの値を表示します。
リバース	シフトレバーのリバース状態を表示します。 リバースにしている場合は「ON」、リバース以外は「OFF」と表示します。
ナビ連動ドライブレコーダー	別売の三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーが接続されている場合は「ON」と表示します。 ドライブレコーダーを接続していない場合は「OFF」と表示します。

システム情報を見る

本機のファームウェアのバージョンに関する情報を表示します。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定] → [システム情報] をタッチする
本機に収録されているデータの情報を確認します。

項目	説明
利用開始日	利用開始日を表示します。
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
シリアルID	シリアル番号を表示します。

困ったとき

故障かなと思ったら	72
こんなメッセージが表示されたら	78

知っておいていただきたいこと

ソフトウェア使用許諾契約書	82
AV の設定について	84
メディアおよびファイルについて	84
BLUETOOTH について	88
iPhone について	90
商標など	91
主な仕様	95
保証とアフターサービス	96

索引	97
----	----

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの三菱自動車販売会社へご相談ください。

共通

症状	考えられる原因	対処方法
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素があるが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがある。	液晶パネル特有の現象です。 故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。 ➡ <u>画面の明るさおよび黒レベルを調整する (P.16)</u>
画面が見にくい。	画面の明るさ、コントラストが合っていない。	画面の明るさ、コントラストを調整してください。➡ <u>画面の明るさおよび黒レベルを調整する、画面表示を消す (P.16)</u> 、➡ <u>AVの画質を調整する (P.25)</u>
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。➡ <u>AVの画質を調整する (P.25)</u>
車を後退させたときにAVの音量が下がる。	リバース時のAV音量ダウンが“ON”に設定されている。	リバース時のAV音量ダウンを“OFF”に設定してください。 ➡ <u>システムの設定をする (P.68)</u>

AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。 ➡ バランス / フェーダーを設定する (P.31)
	音量が小さすぎる。	音量を適正に調整してください。➡ コントロールパネル (P.12)
USB メモリーの動画が映らない。	走行中に見ようとした。	走行中は映像が表示されません。車を安全な場所に停車してから、操作してください。
AV の設定ができない。	同乗者スリープ機能がオンになっている。	同乗者スリープ機能をオフにしてから、操作してください。 ➡ 同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.27)
	ハンズフリー通話中、または発信、着信中。	通話を終了してから、操作してください。
	AV ソースがオフになっている。	AV ソースをオンにしてから、操作してください。
	ドライブレコーダーが選択されている。	ドライブレコーダー以外に切り替えてから、操作してください。
イコライザーカーブの調整ができない。	クリアボイス機能がオンになっている。	クリアボイス機能をオフにしてから、操作してください。 ➡ 同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.27)

iPhone / Apple CarPlay / Android Auto

症状	考えられる原因	対処方法
iPhone または Android が認識されない。	USB ケーブルが正しく接続されていないか、iPhone または Android が正しく動作していない。	USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも iPhone または Android が認識されない場合は、iPhone または Android をリセットしてください。 リセット方法は iPhone または Android の取扱説明書をご覧ください。

症状	考えられる原因	対処方法
Apple CarPlay または Android Auto が起動しない。	Apple CarPlay または Android Auto 機能がオフになっている。	スマートフォンの設定メニューで Apple CarPlay または Android Auto 機能をオンにしてください。
	認証コードが合わないなど、スマートフォンと接続できない状態になっている。	登録したスマートフォンを消去して、もう一度デバイスの登録（ペアリング）を行ってください。 ➡登録した機器の設定をする (P.54) ➡BLUETOOTH 機器を登録する (P.20)
		スマートフォン側の登録を消去して、もう一度デバイスの登録（ペアリング）を行ってください。 ➡BLUETOOTH 機器を登録する (P.20)
	iPhone または Android にヘッドホンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPhone または Android を本機から取り外し、iPhone または Android から全ての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPhone または Android が異常状態になっている。	iPhone または Android メニューに表示されるリセットではなく、iPhone または Android 本体のリセットを行ってください。リセット方法は iPhone または Android の取扱説明書をご覧ください。 iPhone または Android を本機から取り外し、iPhone または Android の電源を入れなおしてください。
	コネクタが正しく接続されていない。	コネクタを奥までしっかりと接続してください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、Apple CarPlay または Android Auto の使用を停止することをお勧めします。 充電は本機の電源がオンのときにできます。
iPhone または Android の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
iPhone または Android を接続しているときに、充電が開始されない。	iPhone または Android の画面がロックされている。	iPhone または Android のロックを解除してください。
本機以外の機器とスマートフォンの Wi-Fi 接続が切断され、接続できない。	本機の Apple CarPlay または Android Auto にスマートフォンをワイヤレス接続した。	本機とお使いのスマートフォンとの Apple CarPlay または Android Auto 接続を解除してください。➡ワイヤレス接続している iPhone を切り替える (P.61)、➡ワイヤレス接続しているスマートフォンを切り替える (P.63)

USB

症状	考えられる原因	対処方法
USB メモリーを認識しない。	USB 挿入口に USB コネクタが正しく接続されていない。	USB メモリーのコネクタを確実に接続してください。
	USB 延長ケーブルを使用している。	USB 延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
USB メモリー内のオーディオ / ビデオファイルが本機で再生できない。	オーディオ / ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。 ➡ <u>本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット (P.85)</u>
	Apple CarPlay または Android Auto を接続している。	Apple CarPlay または Android Auto 接続中は、ビデオファイルを再生することができません。 Apple CarPlay または Android Auto の接続を解除してから、操作してください。
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、"、<、>、 ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名：全角 80 文字 ファイル名：全角 80 文字（拡張子は除く） 全角 80 文字以内に變更してください。
カテゴリーデータベースが作成できない。	USB メモリーが書き込みロックされている。	USB メモリーの書き込みロックを解除してください。
	USB メモリーに登録できるファイル数の上限に達している。	USB メモリーの使用状況を確認し、不要なファイルを削除してください。
	USB メモリーの容量が不足している。	
カテゴリーモードの再生ができない。	カテゴリーリストが壊れている。	パソコンで USB メモリーのルートフォルダにある「_ContentsDB」フォルダを消去してください。 そのあと、カテゴリーリストを作成します。 ➡ <u>カテゴリーデータベースを作成、更新する (P.39)</u>  The diagram shows a tree structure of a USB drive. The root is labeled 'USB ()'. Inside it is a folder named '_ContentsDB ()'. An arrow points from this folder to the text '← 消去' (Delete).

症状	考えられる原因	対処方法
カテゴリーモードの再生で表示された曲が再生できない、またはあるはずの曲が出てこない。	USB メモリー内のオーディオファイルとリストの情報が合っていない。	USB メモリー内のオーディオファイルを追加、消去した場合はカテゴリーリストの更新が必要です。 ➡ カテゴリーデータベースを作成、更新する (P.39)

BLUETOOTH Audio/ ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
BLUETOOTH 機器が登録できない。	認証コードが合っていない。	BLUETOOTH 機器側の登録を消去して、もう一度 BLUETOOTH 機器の登録を行ってください。 ➡ BLUETOOTH 機器を登録する (P.20)
	Wi-Fi 機器と電波が干渉している。	周辺機器の Wi-Fi 機能をオフにするか、Wi-Fi 機器を離して操作してください。
BLUETOOTH Audio プレーヤーの音が途切れる。	本機と BLUETOOTH 対応オーディオプレーヤーの距離が遠い。	BLUETOOTH 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他の BLUETOOTH 機器が通信を妨げている。	他の BLUETOOTH 機器の電源をオフにしてください。または、他の BLUETOOTH 機器を遠ざけてください。
	他の BLUETOOTH 機器と通信中、または、他のプロファイルで通信中。	たとえば、電話帳の登録中などには、音声途切れる場合があります。
	ハンズフリーフォン、データ通信などを行っている。	故障ではありません。通信量が増加するため一時的に症状が発生することがあります。
ハンズフリー通話の受話音量が小さい。	受話音量が小さい。	通話中に <音量 +> / <音量 -> ボタンで調整してください。通話中以外でもシステム設定の「受話音量」で設定できます。 ➡ システムの設定をする (P.68)

リヤビューカメラ★

症状	考えられる原因	対処方法
映像が表示されない。	シフトレバーが“R”（リバース）になっていない。	シフトレバーが“R”（リバース）になっているか確認してください。
映像の映りが悪い。	カメラのレンズが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
	太陽光や後続車のヘッドライトの光が直接カメラレンズ面に当たっている。	レンズ面に当たっている光が消えれば元に戻ります。
映像が暗い。	画面の明るさなどが正しく調整されていない。	画面の明るさ等の調整を行ってください。 ➡ 画面の明るさおよび黒レベルを調整する (P.16)

マルチアラウンドモニター（移動物検知機能付き）★

症状	考えられる原因	対処方法
映像が表示されない。	車の速度が表示条件を満たしていない。	減速してください。 ※表示条件は車両取扱説明書をご覧ください。
	● 接続に異常がある。 ● 本機または接続した機器のヒューズが切れている。	三菱自動車販売会社へご相談ください。
映像の映りが悪い。	レンズが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。
画面上に×や！マークが表示される。	エラーが発生している。	三菱自動車販売会社へご相談ください。

ドライブレコーダー★

症状	考えられる原因	対処方法
映像が表示されない。	ドライブレコーダーが起動していない。	ドライブレコーダーの取扱説明書に従って起動してください。
	走行中に見ようとした。	走行中は映像が表示されません。安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご覧ください。
ドライブレコーダーの設定ができない。	三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー以外のドライブレコーダーを接続している。	本機でドライブレコーダーの設定ができるのは、三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合のみです。 ※三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーに関しては、三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

こんなメッセージが表示されたら

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 お買い上げの販売会社にお問い合わせください。	お買い上げの三菱自動車販売会社へご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合は販売会社にお問い合わせください。	
車速パルスに異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合は販売会社にお問い合わせください。	

★ オプションの装着が必要です。

AV（共通）

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。 ➡ 本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット (P.85)
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像が表示されません。停車すると表示されます。
音声は再生できません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。
ファイルが再生できません。	➡ 本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット (P.85)

ドライブレコーダー★

メッセージ	対処
ドライブレコーダーと接続できません。 (ID:D01)	三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーと通信エラー、コネクタ部の接触不良、ワイヤーの断線、コネクタの抜けが発生しています。 本機、または三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの電源を入れなおしてください。三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの操作については三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。電源を入れなおしても改善されない場合はお買い上げの三菱自動車販売会社へご相談ください。

Apple CarPlay

	メッセージ	対処
USB 接続	Apple CarPlay を使用するには、スマートフォンを USB ポートに接続してください。	➡ <u>Apple CarPlay を接続する (P.60)</u> を参照して iPhone を接続してください。
ワイヤレス接続	BLUETOOTH 接続できません。 スマートフォンを確認してください。	スマートフォンの BLUETOOTH 機能をオンにして接続しなおしてください。

Android Auto

	メッセージ	対処
共通	日付と時刻に誤りがあるため、Android Auto を起動できません。	GPS アンテナが正しく接続されているか確認してください。 ➡ <u>接続状態を確認する (P.70)</u>
USB 接続	Android Auto を起動できません。 スマートフォンを USB ポートに再接続してください。	➡ <u>Android Auto を接続する (P.62)</u> を参照して、USB ケーブルで再度接続してください。
ワイヤレス接続	BLUETOOTH 接続できません。 スマートフォンを確認してください。	スマートフォンの BLUETOOTH 機能をオンにして接続しなおしてください。
	スマートフォンで Wi-Fi 接続エラーが発生しました。 Wi-Fi を再接続するか USB で接続してみてください。	スマートフォンの Wi-Fi 機能をオンにしてワイヤレス接続をしなおしてください。 または、USB ケーブルで接続してください。
	ペアリングに失敗しました。	もう一度デバイスの登録（ペアリング）からやり直してください。 ➡ <u>BLUETOOTH 機器を登録する (P.20)</u>

	メッセージ	対処
ワイヤレス接続	Wi-Fi 接続エラーが発生しました。 Wi-Fi 設定を確認してください。	スマートフォンの Wi-Fi 機能をオンにしてワイヤレス接続をしておしてください。
	Wireless Android Auto を起動できません。 スマートフォンの設定を確認してください。	Android スマートフォンの Wi-Fi 機能をオンにしてワイヤレス接続をしておしてください。

USB

メッセージ	対処
非対応デバイスが接続されました。	● 非対応の USB デバイスを接続していないか確認してください。 ➡ 本機で利用できる USB メモリー (P.84) ● USB ケーブル、または USB デバイスを交換して問題がないか確認してください。
USB Hub の接続には対応していません。	USB ハブを使用した接続には対応していません。USB デバイスを直接 USB 挿入口に接続してください。
USB デバイスで過電流が検出されました。	● 非対応の USB デバイスを接続していないか確認してください。 ➡ 本機で利用できる USB メモリー (P.84) ● USB ケーブル、または USB デバイスが故障している可能性があります。USB ケーブル、または USB デバイスを交換して問題がないか確認してください。
USB デバイスアクセスエラーが発生しました。	● USB デバイスが正しく接続されているか確認してください。 ● USB ケーブル、または USB デバイスが故障している可能性があります。USB ケーブル、または USB デバイスを交換して問題がないか確認してください。
デバイスが接続されていません。	デバイスの接続を確認してください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品をご使用前に 必ずお読みください

このディスプレイオーディオ製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

使用許諾契約書

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用权を使用者に許諾します。

第2条（使用权）

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否に関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定PCへのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用权については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契

約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。

2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一

切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス
<http://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、あらかじめ御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。掲載場所は [情報・設定] - [システム設定] - [その他設定] - [オープンソースライセンス] です。

AV の設定について

- AV の設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ (OFF) のとき、またはドライブレコーダーのときは、AV の設定はできません。
- AV の設定をするときは同乗者スリープ機能をオフにしてください。同乗者スリープ機能がオンのときは、AV の設定はできません。
- ラジオのイコライザーの設定をするときは、クリアボイス機能をオフにしてください。クリアボイス機能がオンのときは、イコライザーの調整、イコライザープリセットの設定ができません。
- ハンズフリー通話中や発信、着信中は設定できません。
- 各ソース画面の [AV 設定] をタッチしても AV 設定画面を表示できます。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB メモリーは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ/ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で利用できる USB メモリー

規格	USB 1.1/USB 2.0* ¹
デバイスクラス	マスストレージクラス (MSC device) * ²
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT* ³

*¹ : USB3.0 には対応していません。

*² : 使用する USB メモリーが USB マスストレージクラスに対応しているかは、USB メモリーの販売メーカーにお問い合わせください。

*³ : このほかのファイルシステムには対応していません。

- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USB メモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

知識

- 本機で再生できるフォーマットについては、➡ 本機で再生できるオーディオ/ビデオフォーマット (P.85) をご覧ください。

■ USB メモリー使用上のご注意

- 接続した USB メモリーは運転の支障とならないように設置してください。全ての USB メモリーに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB ハブには対応していません。
- マルチカードリーダーは使用できませんので接続しないでください。
- セキュリティ機能付きの USB メモリーは使用できません。
- USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USB メモリーの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- 全ての USB メモリーに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB メモリーのデータは必ずバックアップをしてください。USB メモリーの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

- 下記の USB メモリーには対応していません。
 - パーティションが複数あるもの
 - パソコンに接続した際、ドライバーを要求されるもの
 - セキュリティ機能など特殊な機能が付いているもの
 - 全ての USB メモリーの動作を保証するものではありません。

ハイレゾ音源について

- 本機は、以下のハイレゾ音源ファイルの再生に対応しています。

コーデック	サンプリング 周波数	量子化 ビット数
FLAC/ WAV	44.1 ~ 198kHz	24bit
	48kHz 超過~ 198kHz	16bit

- ハイレゾ再生をお楽しみ頂くには、接続される機器（スピーカー等）もハイレゾ再生可能な製品が必要となります。

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

- 本機は、USB メモリーに保存されている以下のオーディオ / ビデオファイルの再生に対応しています。

コーデック

オーディオ ファイル	MP3
	WMA
	AAC
	WAV
	FLAC
ビデオファイル	Vorbis
	MPEG-4 Video
	H.264/MPEG-4 AVC

■ 著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することとは著作権法で禁止されています。

知っておいていただきたいこと

■ オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC、 HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCM のみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット 数	16bit	16bit	16bit	16bit/24bit	16bit	16bit/24bit
ビットレート	8 ～ 320kbps, VBR	8 ～ 320kbps	8 ～ 320kbps, VBR	-	-	-
サンプリング 周波数	16k ～ 48kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 192kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 192kHz
タグ	ID3 タグ ver 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 (ID3v2 の非同期化は 非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデー タ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイント ステレオ対応	DRM/ Professional/ Lossless/ Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生 可能 DRM/ マルチチャンネル は非対応	圧縮レベル： 0 ～ 8	-	-

※オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生できない場合があります。

※本機で表示できるアルバムアートワーク画像は、以下の条件を満たしたファイルです。

- 画像データのサイズが 650KB 以下
- 縦横両方の辺が、それぞれ 2000 ピクセル以下

知っておいていただきたいこと

■ ビデオファイル

	MPEG-4 Video			H.264/MPEG-4 AVC			
対応形式	ISO MPEG4			H.264/MPEG-4 AVC			
ファイルコンテナ	AVI	MP4	M4V	AVI	MP4	FLV	M4V
拡張子	.avi	.mp4	.m4v	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.m4v
プロファイル	アドバンスドシンブルプロファイル			ベースラインプロファイル、メインプロファイル			
対応音声コーデック	MP3, AAC			MP3, AAC			
最大ピクチャサイズ	1920 × 1080			1920 × 1080			
最大フレームレート	30fps			30fps			
最大ビットレート	8Mbps			8Mbps			

※ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをする可能性があります。

※本機ではファイルサイズが 4GB 以下のビデオファイルが再生できます。

■ ファイル名とフォルダ名

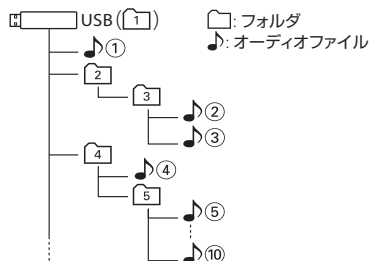
- 本機で表示できる文字：半角英数字、半角カタカナ、全角文字
- 文字数制限：ファイル名 全角 80 文字 *¹
(拡張子は除く)
フォルダ名 全角 80 文字 *¹
ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。
*¹：文字数は 3 バイト換算です。
- 使用できない文字：¥、\、/、:、*、?、"、<、>、|
ファイルには正しく拡張子を付けてください。

■ ファイル数とフォルダ数の制限

- 1 フォルダ内の最大ファイル数：999
- 1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999
- フォルダ階層数は、ルートを含めて最大 8 階層となります。ただし、フォルダ名 / ファイル名が最大文字数を超える場合は認識できません。
- デバイス内の最大フォルダ数と最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

■ 再生する順番について

ファイル名の昇順で再生されます。
下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



BLUETOOTH について

BLUETOOTH 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP (ver.1.6) (ハンズフリープロファイル)
ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP (ver.1.2) (フォンブックアクセスプロファイル)
電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP (ver.1.3)* (高度オーディオ配信プロファイル)
オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (ver.1.5) (オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル)
オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP (ver.1.2) (シリアルポートプロファイル)
BLUETOOTH 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

BLUETOOTH 標準規格 Ver.5.0 準拠

*SCMS-T 対応

(SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。)

■対応コーデック

SBC/AAC

📖 知識

- BLUETOOTH機能搭載機器は、BLUETOOTH SIG が定めている方法で BLUETOOTH 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

ハンズフリーフォンについて

- ハンズフリーフォンを使用するときの通話料は、お客さまのご負担になります。
- 安全な場所へ停車してから通話を行ってください。
- ハンズフリーフォンは本機のマイクを使用して通話します。
安全に運転できる姿勢で大きな声ではっきりとお話ください。（マイクに近づいたり、マイクを注視して前方不注意にならないようにしてください。）
- 運転席以外からハンズフリーフォンで通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
- 通話中に本機から離れる（無線通信が不可能な状態になる）と通信は終了（切断）されます。
- 本機は、通話アプリケーションに対応していません。スマートフォンなどにおいて、ハンズフリーフォンの発信ができない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信ができないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- BLUETOOTH 通信用の車両側アンテナは本機に内蔵されています。携帯電話を金属に覆われた場所や本機から離れた場所に置くと、音が悪くなったり接続できなかったりする場合があります。
- ハンズフリーフォンの状態で、携帯電話側での操作はしないでください。誤動作をする場合があります。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、BLUETOOTHの接続性が低下する場合（発信ができないなど）があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリーフォンの操作を行ってください。
- 携帯電話を車内に放置しないでください。炎天下など、車内が高温となり、故障の原因となります。

iPhone について

本機でコントロールできる iPhone について

本機からコントロールできる iPhone は以下のとおりです。

Made for

iPhone 16 Pro Max	iPhone 13 Pro
iPhone 16 Pro	iPhone 13
iPhone 16 Plus	iPhone 13 mini
iPhone 16	iPhone 12 Pro Max
iPhone 15 Pro Max	iPhone 12 Pro
iPhone 15 Pro	iPhone 12
iPhone 15 Plus	iPhone 12 mini
iPhone 15	iPhone SE (2nd generation)
iPhone 14 Pro Max	iPhone 11 Pro Max
iPhone 14 Pro	iPhone 11 Pro
iPhone 14 Plus	iPhone 11
iPhone 14	iPhone XS Max
iPhone SE (3rd generation)	iPhone XS
iPhone 13 Pro Max	iPhone XR

※ 音楽再生のみに対応

- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。
- iOS のバージョンにより対応状況が変わる場合があります。

iPhone の接続について

本機に iPhone を接続するときは、Apple 社純正の USB-C - Lightning ケーブル (Lightning コネクタ搭載 iPhone) または Apple 社純正の USB-C 充電ケーブル (USB-C コネクタ搭載 iPhone) が必要です。

🔌 iPhone を接続する (USB 接続) (P.34)

📖 知識

- iPhone の接続には、Apple 社純正の USB-C - Lightning ケーブルまたは Apple 社純正の USB-C 充電ケーブル (USB 挿入口に接続できる形状の接続口のものを) をお使いください。純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。



Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft.

Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, Apple CarPlay, iPhone, Siri, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries and regions. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

App Store is a service mark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

Google、Android、Android Auto は Google LLC の商標です。

- USB 接続の場合
互換性のある Android スマートフォンと、有効なデータ通信プランが必要です。
- ワイヤレス接続の場合
お持ちの自動車のディスプレイで Android Auto をご利用いただくには、Android 11.0 以上の Android スマートフォン、有効なデータプラン、Android Auto アプリが必要です。

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



知っておいていただきたいこと

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

本製品には、株式会社ユビキタス AI の高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタス AI の商標です。

Copyright© 2025 Ubiquitous AI Corporation. All rights reserved.



Ubiquitous AI

日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）の compact Wnn を使用しています。

compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2017 All Rights Reserved.

当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。

ロゴは登録商標です。



USB Type-C および USB-C は USB Implementers Forum の商標です。

Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。

libFLAC

Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson

Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i)ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii)DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

知っておいていただきたいこと

主な仕様

■ モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFT アクティブマトリクス
画面サイズ	9V 型*
使用光源（照明方式）	LED バックライト方式

* 画面サイズの V 型（9V 型など）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

■ ラジオ・チューナー部

回路方式	AM/FM/MPX ラジオ PLL 方式
受信周波数	FM 76.0MHz ~ 99.0MHz (0.1MHz) AM 522kHz ~ 1629kHz (9kHz)
実用感度	FM 10dBuVEMF AM 36dBuVEMF
S/N 比	FM 55dB (DIN AUDIO フィルター使用時) AM 50dB (DIN AUDIO フィルター使用時)
ステレオセパレーション	FM 20dB 以上 (DIN AUDIO フィルター使用時)
歪み率	FM/AM 0.5%

■ 入出力端子

電源入力端子	TH18 専用コネクタ
外部入力端子	TH08 専用コネクタ
GPS アンテナ入力端子	GT5 専用コネクタ
ラジオ入力端子	GT13SH 専用コネクタ
USB 端子（出力電圧）	type C（5V 3.0A）

■ Wi-Fi 部

無線 LAN 規格		IEEE 802.11 a/n/ac
周波数範囲	5GHz	5.150 ～ 5.250GHz
使用チャンネル	5GHz	W52(36/40/44/48ch)
セキュリティ方式		OPEN / WEP / WPA(Personal) / WPA2(Personal) / WPA3(Personal)
出力		最大 +13dBm

■ その他

電源電圧	13.2V (9V ~ 16V)
最大出力	49W × 4 (16V)
外形寸法	244mm x 132.2mm x 169.9mm (幅×高さ×奥行き)
質量	1.8kg (本体のみ)

* 本書に記載の寸法・質量はおよその数値です。
これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

保証について

保証期間は、お買い上げ日またはお取り付け日から3年です。

ただし、その期間内でも走行距離が60,000kmまでといたします。

お買い上げの三菱自動車販売会社から発行される「保証書」に必要事項が記入されているかお確かめのうえ、お客さまの「車検証入れ」などに入れて大切に保管してください。

アフターサービスについて

本機が正常に動作しないときは、この説明書を再度ご覧になってお調べください。

それでも本機が正常に動作しないときは、お買い上げの三菱自動車販売会社へご相談ください。

A

AAC.....	85, 86, 87
AM 放送を聞く.....	33
Android Auto.....	62
Apple CarPlay.....	60
AV 設定.....	27

B

BLUETOOTH Audio 機器の再生.....	36
BLUETOOTH 機器の登録.....	20
BLUETOOTH 設定.....	55
BLUETOOTH 対応プロファイル.....	88

F

FLAC.....	85, 86
FM 放送を聞く.....	33

G

GPS アンテナの接続状態.....	70
--------------------	----

H

H.264.....	85, 87
HDMI.....	40

I

iPhone 接続ケーブル.....	90
iPhone (本機でコントロールできるモデル).....	90
iPhone を再生する.....	36

iPhone を接続する (BLUETOOTH 接続) ...	20
iPhone を接続する (USB 接続)	34

K

K2テクノロジー.....	28
---------------	----

M

MP3.....	85, 86, 87
MPEG-4.....	85, 87

Q

QR コード.....	3
-------------	---

U

USB メモリー.....	84
USB メモリーのファイル再生.....	36
USB メモリーを接続する.....	34

V

Vorbis.....	85, 86
-------------	--------

W

WAV.....	85, 86
WMA.....	85, 86

あ

アスペクト (画面表示サイズ)	26
-----------------------	----

い

イージーセッアップ.....	19
イコライザー.....	28
イコライザー調整.....	29

え

映像の画面表示サイズ変更.....	26
-------------------	----

お

オプションスイッチ.....	67
オプションボタン.....	45
音声出力時の AV 音量.....	68
音声の音量.....	68

か

画質の調整.....	25
画面消し.....	16
画面の明るさの調整.....	16

<

クリアボイス機能.....	27
---------------	----

け

携帯電話未接続案内.....	55
言語.....	68

こ

交通情報 (ラジオ).....	33
-----------------	----

個人情報の初期化.....	69
コントロールパネル.....	12

さ

サウンド設定.....	28
サウンドライザー.....	28
サウンド・リアライザー.....	28
サンプリング周波数.....	86

し

システム情報.....	70
システムの設定.....	67
車速.....	70
受話音量.....	68
情報・設定メニュー.....	66

す

ステアリングスイッチ（オーディオ）.....	14
スピーカー出力レベル設定.....	31
スピーカーディレイ設定.....	32
スマートフォン連携.....	59, 67

せ

接続確認.....	70
センサー学習.....	69

そ

操作音の出力設定.....	69
送話音量.....	68
ソース切替.....	24

ソースレベル（音量）設定.....	31
-------------------	----

た

ダイヤル（電話をかける）.....	56
-------------------	----

ち

着信音量.....	68
着信の自動応答.....	55

て

電源オン / オフ.....	16
電話 1 / 電話 2.....	58
電話帳の登録.....	56
電話の着信.....	57
電話メニュー.....	56
電話をかける	
ダイヤル.....	56
電話機を選ぶ.....	58
電話帳.....	56
履歴.....	56
ワンタッチダイヤル.....	56

と

同乗者スリープ機能.....	27
登録機器の消去（BLUETOOTH）.....	54
時計表示の設定.....	69
トップメニュー画面.....	17
ドライブレコーダーの映像を見る.....	46
ドライブレコーダーの接続状態.....	70
取扱説明書.....	3

は

パーキングブレーキ.....	70
ハイレゾ音源.....	85
バスブースト.....	28
バランス調整.....	31
ハンズフリー通話.....	21, 56
販売会社（電話をかける）.....	56

ふ

フェーダー調整.....	31
--------------	----

へ

ペアリング（BLUETOOTH）.....	20
-----------------------	----

ほ

ホールシュミレーション.....	28
------------------	----

ま

マルチア라운드モニター （移動物検知機能付き）.....	45
---------------------------------	----

み

三菱自動車純正用品オリジナルナビゲーション 連動ドライブレコーダー	
microSD カードの初期化.....	49
映像を見る.....	46
設定.....	50
ファイルの再生.....	47
ファイルの消去.....	48
ファイルの保護 / 解除.....	48

三菱自動車純正用品リヤビューカメラ	42	USB メモリーのビデオファイル.....	38
		リヤビューカメラ.....	42

め

メッセージ	78
-------------	----

も

文字入力	18
------------	----

ゆ

ユーザー切替	68
ユーザー名の編集.....	68

ら

ラウドネス	28
ラジオを聞く	33
ランダム再生	
BLUETOOTH Audio 機器	36
iPhone.....	36
USB メモリーのオーディオファイル.....	36
USB メモリーのビデオファイル.....	38

り

リスニング設定.....	27
リダイヤル（電話をかける）	56
リバース	70
リバース時の AV 音量.....	68
リピート再生	
BLUETOOTH Audio 機器	36
iPhone.....	36
USB メモリーのオーディオファイル.....	36

わ

ワンタッチダイヤル.....	58
----------------	----

MEMO

付録

MEMO

MEMO



付
録



お問い合わせ、ご相談は下記にお願いいたします。

三菱自動車

全国共通フリーダイヤル
(Toll Free)

お客様相談センター ☎0120-324-860

(Customer Relations)

お客様の個人情報は厳重に取り扱い、お問い合わせへの対応に使用いたします。
また、ご相談内容によっては適切な対応をさせていただくため、三菱自動車販売会社
等へ必要な範囲で情報を開示し、販売会社等からお客様にご連絡を取らせていただく
場合もございますので、予めご了承ください。

なお、当社における個人情報の取り扱いの詳細については三菱自動車ホームページ
(www.mitsubishi-motors.co.jp/privacy/) にて記載しております。



B5A-4667-00